

フィボナッチ・トレーダーのための All-in-One MT4 ツール・ボックス

RF1 for MT4

designed by 素数ソフトウェア

説明書 (v2.026)

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず使用許諾条件をお読みください。本ソフトウェアを使用した場合、使用許諾条件に同意されたものと見なします。

本ソフトウェアの v2.000 以降のバージョンは RF0 と併用できません。同一のチャートに本ソフトウェアの v2.000 以降と RF0 が両方導入されている場合は、できるだけ速やかに RF0 をチャートから削除してください。

本説明書で使用している画像は開発中のものを使用しています。
一部、画面が最新版と異なる場合があります。

MetaTrader は MetaQuotes Software Corp.の登録商標です。

目次

| | |
|--|----|
| 使用許諾条件..... | 3 |
| SIL Open Font License 1.1..... | 6 |
| マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT VISUAL C++ 2015 - 2022 ランタイム..... | 8 |
| 動作環境..... | 10 |
| インストール方法（正式版・試用版共通）..... | 11 |
| ライセンス・キーの設定方法..... | 17 |
| 使用方法..... | 18 |
| 機能の有効化・無効化..... | 18 |
| ボタンとショートカット・キー..... | 19 |
| 全般的な使用上のご注意..... | 20 |
| 各機能の使用方法..... | 21 |
| (R) フィボナッチ・リトレースメント..... | 21 |
| (E) フィボナッチ・エクспанション..... | 21 |
| (W) エリオット波動の番号（0～5）..... | 23 |
| (Q) 山や谷につける番号（1～3）..... | 24 |
| (V) 複数のチャート間で共有される垂直線..... | 25 |
| (H) 複数のチャート間で共有される水平線..... | 26 |
| (/)(\)トレンド・ライン..... | 27 |
| (T) テキスト..... | 27 |
| (1)～(5) 定型テキスト..... | 27 |
| (Y) 複数行テキスト..... | 28 |
| (M) 長方形..... | 29 |
| (N) 連続線..... | 29 |
| (6)～(9), (0) オブジェクトの色を変更（定型色）..... | 30 |
| (I), (O), (P) 共有水平線・共有垂直線の表示時間足を変更..... | 30 |
| (;) チャートを設定に従ってキャプチャー..... | 31 |
| (:) 現在の MetaTrader 4 の表示をキャプチャー..... | 31 |
| (Ctrl+Shift+D) 全てのオブジェクトを全てのチャートから削除..... | 32 |
| (B) 買いトレード (S) 売りトレード..... | 33 |
| 設定..... | 34 |
| ボタンの設定..... | 34 |
| 機能の設定..... | 34 |
| ショートカット・キーの設定..... | 35 |
| フィボナッチの設定 / 共通設定..... | 36 |
| フィボナッチの設定 / リトレースメントの設定..... | 37 |
| フィボナッチの設定 / エクспанションの設定..... | 38 |
| エリオット波動の設定..... | 38 |
| 山（谷）カウントの設定..... | 38 |
| 垂直線の設定..... | 39 |
| 水平線の設定..... | 40 |
| トレンドラインの設定..... | 41 |
| テキストの設定..... | 42 |
| 複数行テキストの設定..... | 42 |
| 長方形の設定..... | 43 |
| 連続線の設定..... | 43 |
| 取引マークの設定..... | 44 |
| 色の設定（定型色）..... | 45 |
| 水平線と垂直線の表示時間足設定..... | 45 |
| チャート・キャプチャーの設定..... | 46 |
| 通貨ペアの設定..... | 48 |
| 高度な設定..... | 49 |
| トラブル・シューティング（こんなときは）..... | 50 |
| ライセンス・キーの適正な使用の推進について..... | 52 |
| バージョン履歴..... | 53 |

使用許諾条件

本ソフトウェアをご使用いただくには、使用許諾条件に同意する必要があります。本ソフトウェアを使用された場合、この使用許諾条件に同意されたものと見なします。

1. 用語の定義

。 本ソフトウェア

この使用許諾条件と同時に配布される MT4 用インジケータ・ファイル“RF1****.ex4”（****の部分の文字列や文字数は版によって異なる、以下、「インジケータ本体」と記載）、および、インジケータ本体と同時に配布され、かつインジケータ本体から参照される一切のファイルを指します。ただし、別途 SIL Open Font License が適用されることが明示されているフォント・ファイルと、Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable Package を除きます。

。 ユーザ

本ソフトウェアの使用許諾を得た個人を指します。

。 作者

本ソフトウェアの作者を指します。

。 著作権者

本ソフトウェアの著作権を有する者を指します。

2. ユーザの権利、義務、禁止事項

1. ユーザは、本ソフトウェアを、ユーザ自身が使用する MetaTrader 4 に無制限にインストールして使用することができます。ただし、販売経路、頒布経路によって、別途インストールまたはアクティベートできる回数に制限が設けられる場合は、その制限が適用されます。
2. ユーザは、別途使用期限が明示されている場合を除いて、本ソフトウェアを永久に使用することができます。ただし、本条文は、本ソフトウェアが動作する基盤（MetaTrader 4、OS、その他）の仕様変更等により本ソフトウェアが正常に動作しなくなった場合に、本ソフトウェアが正常に動作するように改修されることを保証するものではありません。
3. ユーザは、パソコンの故障等に備える目的で、本ソフトウェアのバックアップを保管することができます。
4. ユーザは、本ソフトウェアを使用する権利を他人に譲渡することはできません。
5. ユーザは、形態や手段の如何を問わず、本ソフトウェアを他人に使用させてはなりません。
6. ユーザは、形態や手段の如何を問わず、本ソフトウェアのライセンス・キーを他人に開示してはなりません。
7. ユーザは、形態や手段の如何を問わず、本ソフトウェアをリバース・エンジニアリングしてはなりません。
8. ユーザは、本ソフトウェアを再頒布してはなりません。ただし、著作権者の書面による明示的な許諾を得た場合はこの限りではありません。
9. ユーザは、作者および著作権者が 3.2.および 3.4.に規定される権利を行使することを正当な理由なく妨げ、もしくは遅延させてはなりません。
10. ライセンス・キーの使用者（客観的証拠によりライセンス・キーを不正に使用している可能性が高いと考えられる者を含む）は、作者または著作権者が 3.4.に規定される権利を行使した場合は、遅滞なく回答しなければなりません。また、当該回答にあたって、虚偽の回答をしてはなりません。
11. ユーザは、本ソフトウェアの試用版を本ソフトウェアのライセンスの購入を検討する目的以外の目的で使用してはなりません。

12. 本ソフトウェアを試用するユーザは、本ソフトウェアを連続する 28 日間を超えて試用してはなりません。なお、作者または著作権者による別途の書面による定めがある場合には、本項によらず試用が許諾される場合があります。
3. 作者および著作権者の権利、義務
 1. ユーザがこの使用許諾条件に違反した場合、作者および著作権者は、当該ユーザに対する本ソフトウェアの使用許諾を即時終了させる権利を有します。この場合、既納のライセンス料は返還しません。
 2. 作者および著作権者は、ユーザが使用中の本ソフトウェアの種類、バージョン、復元不可能な形に加工されたライセンス・キーを通信により取得する権利を有します。また、当該通信の発信元情報を当該通信により送信される情報と紐付けて記録する権利を有します。
 3. 作者および著作権者は、前項の規定により取得した情報を、以下に掲げる目的の他に使用してはなりません。
 - i. ライセンス・キーが使用許諾条件に従って使用されているか否かを調査する目的
 - ii. ライセンス・キーの使用状況を確認する目的
 4. 前々項の規定により取得した情報に基づく客観的な証拠により、ライセンス・キーが不正に使用されている可能性が高いと考えられる場合は、作者および著作権者は、ライセンス・キーの使用者（客観的証拠によりライセンス・キーを不正に使用している可能性が高いと考えられる者を含む）に対して、当該不正の有無を確認するために必要な範囲、かつ社会通念上許容される範囲で質問をする権利を有します。
4. 免責事項、制約事項
 1. 本ソフトウェアは、外国為替証拠金取引やその他のあらゆる取引を勧誘、推奨、助言するものではありません。本ソフトウェアを使用して生じた如何なる結果（投資判断やその結果生じた損益、本ソフトウェアの不具合等による取引プラットフォームの使用不可を含むが、それらに限らない）についても、作者および著作権者は責任を負いません。
 2. 本ソフトウェアは現状有姿で提供されます。作者および著作権者は、本ソフトウェアの不具合修正や改善などを含むユーザからの要求に応える義務を負いません。ただし、販売経路、頒布経路によって、これらの権利が認められている場合には、この限りではありません。
 3. 本ソフトウェアは日本国内で使用されることを前提としています。ユーザが本ソフトウェアを日本国外で使用した場合に生じるいかなる法的な問題（当該地域における第三者の知的財産権に関する紛争を含むが、これに限らない）においても、作者および著作権者は責任を負いません。
5. 他の使用許諾条件またはライセンスが適用されるファイル
 1. ユーザは、他の使用許諾条件またはライセンスが適用されるファイルについては、おのこの指定された使用許諾条件またはライセンスに従って利用するものとします。
 2. 他の使用許諾条件またはライセンスが適用されるファイルについては、「3 作者および著作権者の権利、義務」の効力は及びません。
 3. 本使用許諾条件と同時に配布されるファイルのうち、“DT_RF1_2A5DA3F4.ttf”と“DT_RF1_2A5DA3F4_Inverted.ttf”は、「SIL Open Font License 1.1」によりライセンスされます。
 4. 「SIL Open Font License 1.1」は別掲します。
 5. 本使用許諾条件と同時に配布されるファイルのうち、Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable Package は「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT VISUAL C++ 2015 - 2022 ランタイム」によりライセンスされます。
 6. 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT VISUAL C++ 2015 - 2022 ランタイム」は別掲します。

6. その他

1. 本使用許諾条件に定めのない事項については、日本国の法律によります。
2. 本使用許諾条件に関する訴訟の第一審の専属的合意管轄裁判所は、作者または著作権者の本店または居所地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所とします。

使用許諾条件、以上

SIL Open Font License 1.1

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1. This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding

Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

MICROSOFT VISUAL C++ 2015 - 2022 ランタイム

本ライセンス条項は、Microsoft Corporation（またはお客様の所在地に応じた関連会社）とお客様との契約を構成します。本ライセンス条項は、上記のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に適用されます。本ライセンス条項は、別途のライセンス条項が付属している場合を除き、本ソフトウェアに関連するマイクロソフトのサービスまたは更新プログラムにも適用されます。本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下の権利が許諾されます。

1. インストールと使用権。

お客様は、本ソフトウェアの任意の数の複製をインストールして使用することができます。

2. 特定のコンポーネントに関する条件。

a. Microsoft プラットフォーム。本ソフトウェアには、Microsoft Windows、Microsoft Windows Server、Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange、Microsoft Office、および Microsoft SharePoint のコンポーネントが含まれている場合があります。これらのコンポーネントには、本ソフトウェアに付属しているマイクロソフトの「Licenses」フォルダーに規定されている、別途のライセンス条項および固有の製品サポート ポリシーが適用されます。ただし、関連するインストール ディレクトリにこれらのコンポーネントのライセンス条項も含まれている場合は当該ライセンス条項が適用されます。

b. 第三者のコンポーネント。本ソフトウェアには、別途の法的通知を含むか、別の契約が適用される第三者のコンポーネントが含まれている場合があります。これらについては本ソフトウェアに付属する NOTICES ファイルに規定されています。

3. ライセンスの範囲。本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を許諾します。その他の権利はすべてマイクロソフトが留保します。適用される法令によって本ライセンス条項の制限を超える権利が許諾される場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、使用方法を制限するために本ソフトウェアに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。以下の行為は禁じられています。

- ・本ソフトウェアの技術的な制限を回避する方法で使用する。
- ・本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、もしくは逆アセンブルすること、またはその他の方法で本ソフトウェアのソース コードの解明を試みる。ただし、本ソフトウェアに含まれる場合がある一定のオープンソース コンポーネントの使用に適用される第三者のライセンス条項により求められている場合を除きます。
- ・本ソフトウェアに含まれるマイクロソフトまたはそのサプライヤーによる通知を削除、最小化、ブロック、または変更すること。
- ・法律に違反する方法で本ソフトウェアを使用すること。
- ・本ソフトウェアを共有、公開、レンタル、またはリースすること。
- ・本ソフトウェアを第三者が使用できるようにスタンドアロン サービスとして、もしくはお客様のアプリケーションのいずれかと組み合わせて提供すること、または本ソフトウェアもしくは本ライセンス条項を第三者に譲渡すること。

4. 輸出規制。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。輸出規制の詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

5. サポート サービス。本ソフトウェアは「現状有姿のまま」で提供されるため、Microsoft は本ソフトウェアに関してサポート サービスを提供しない場合があります。

6. 完全合意。本ライセンス条項ならびにお客様が使用する追加物、更新プログラム、インターネットベースのサービスおよびサポート サービスに関する条項は、本ソフトウェアおよびサポート サービスについてのお客様と Microsoft との間の完全なる合意です。

7. 準拠法。お客様が本ソフトウェアを米国内で入手された場合、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。お客様が本ソフトウェアを他の国で入手した場合は、当該地域の法律を準拠法とします。

8. 消費者の権利、地域による差異。本契約は、特定の法的な権利を規定したものです。お客様は、地域や国によっては、消費者としての権利を含め、その他の権利を有する場合があります。マイクロソフトとお客様との関係とは別に、お客様に本ソフトウェアを提供した当事者に関する権利を有する場合があります。本契約は、お客様の地域または国の法令が権利の変更を許容しない場合、それらのその他の権利を変更しないものとします。たとえば、お客様が本ソフトウェアを以下のいずれかの地域で

取得した場合、または国の強制的な法令が適用される場合には、以下の規定がお客様に適用されます。

a. オーストラリア。お客様は、オーストラリアの消費者法に基づく法定の保証を有します。また、本契約のいかなる規定もそれらの権利に影響を及ぼすものではありません。

b. カナダ。お客様が本ソフトウェアをカナダで入手された場合、自動更新機能をオフにする、お客様のデバイスをインターネットから切断する（ただし、インターネットに再接続すると、本ソフトウェアは更新プログラムの確認およびインストールを再開します）、または本ソフトウェアをアンインストールすることにより、更新プログラムを受け取ることを停止できます。製品付属の文書がある場合は、当該文書にお客様の特定のデバイスまたはソフトウェアの更新をオフにする方法が記載されていることもあります。

c. ドイツおよびオーストリア

(i) 保証。正規にライセンスを取得したソフトウェアは、本ソフトウェアに付属するマイクロソフトの資料の記載に実質的に従って動作します。ただし、Microsoft は、ライセンスを取得したソフトウェアに関して契約上の保証を一切行いません。

(ii) 責任制限。マイクロソフトは、故意による行動、重過失があった場合、および製造物責任法に基づく請求が申し立てられた場合、ならびに人の死亡もしくは人的傷害、または物理的傷害が発生した場合、制定法に従って責任を負います。

前掲条項 (ii) にしたがって、Microsoft は、Microsoft が当該の契約上の重大義務違反をした場合で、かつ同義務が本契約の正当な履行の土台となるため、同違反が本契約の目的および一方の当事者が通常信頼を置く同義務への準拠の履行が危うくなる場合（いわゆる「基本的義務」）について、軽過失についてのみ責任を負うものとします。その他の軽過失については、マイクロソフトは責任を負いません。

9. あらゆる保証の免責。本ソフトウェアは「現状有姿」でライセンスされるものとします。本ソフトウェアの使用によるリスクはお客様が負うものとします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。お客様の地域の法律によって認められる範囲において、マイクロソフトは、商品性、特定目的に対する適合性、および侵害の不存在に関して一切責任を負いません。

10. 責任の制限および除外。マイクロソフトおよびそのサプライヤーの責任は、5 米ドルを上限とする直接損害に限定されます。マイクロソフトは、派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付随的損害を含め、その他の損害について一切責任を負いません。

この制限は、(a) 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含みます）または第三者のアプリケーションに関連した事項、および (b) 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求（適用される法令により認められている範囲において）に適用されます。

この制限は、マイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたか、または認識しえた場合にも適用されます。また、国によっては付随的損害、派生的損害等またはその他の損害に対する責任の排除または制限を認めていないことがあるため、上記の制限または排除がお客様に適用されない場合があります。

EULA ID: Cpp_2015-2022_JPN.1041

動作環境

本ソフトウェアを動作させるには、以下の OS のいずれかと、Meta Quotes 社の MetaTrader 4 が快適に動作している環境が必要です。

- OS
 - Windows 11 日本語版 64-bit Home Edition; または
 - Windows 11 日本語版 64-bit Professional Edition

MEMO

Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10 や 32-bit 版、日本語版以外の OS については、動作はすると思いますが、原則としてサポートはいたしかねます。ご購入いただく場合は、試用版で動作確認の上、ご使用に支障がないことをご確認の上でご購入ください。また、各 OS においてサービスパックが提供されている場合は、必ず最新のサービスパックを適用の上ご使用ください。

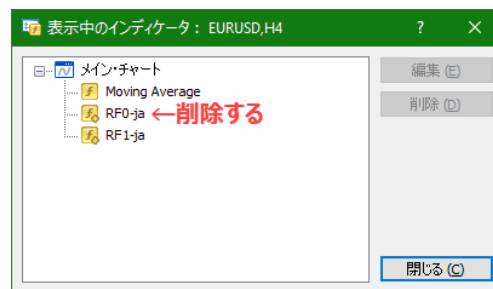
インストール方法（正式版・試用版共通）

RF1 を正しく動作させるため、以下の手順に従ってインストール作業を実施してください。

チャートから RF0 を削除する（RF0 をお使いの方のみ）

本ソフトウェアの v2.000 以降は RF0 と同一チャート内に共存できませんので、RF0 を削除する必要があります。

RF0 を削除するには、チャート上で [Ctrl] + [I (アイ)] を入力して、[表示中のインディケータ] ダイアログを表示します。RF0-ja が存在する場合、RF0-ja を削除してください。



ここで、すべての MetaTrader 4 を終了してください。

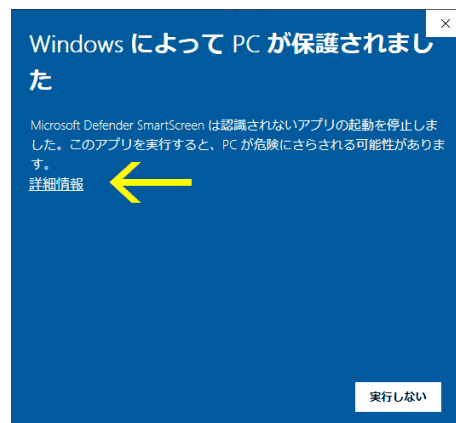
次のページへ続く

インストーラーを起動する

RF1-V.VVV-XXXXXXXX-Setup.exe（V.VVV の部分には本ソフトウェアのバージョン番号、XXXX の部分には数字が入ります）を起動します。

右図のようなメッセージが表示された場合は、黄色矢印で示した[詳細情報]をクリックします。

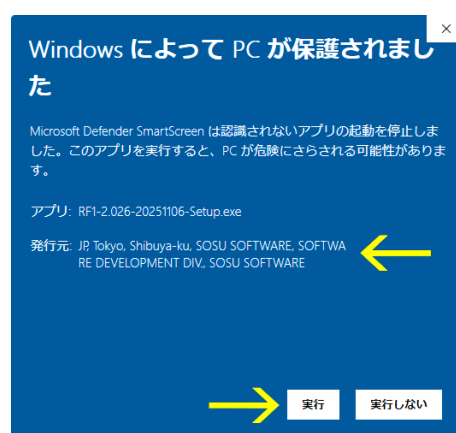
※このメッセージは表示されない場合もあります。



すると、[実行] ボタンが現れますので、発行元が SOSU SOFTWAREであることを確認して、[実行]ボタンをクリックしてください。

MEMO

発行元の住所は、移転等の事情により右図とは異なる場合があります。また、発行元の住所は表示されない場合もあります。



右図のようなメッセージが表示された場合は、「確認済みの発行元: SOSU SOFTWARE」の表示を確認して、[はい] をクリックしてください。

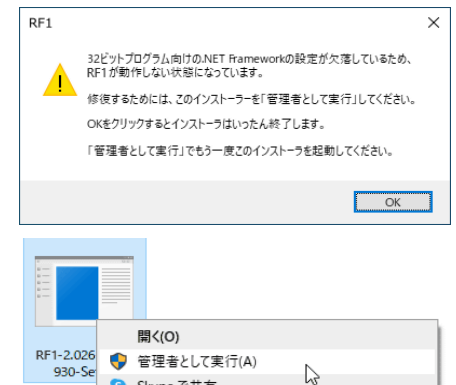
※このメッセージは表示されない場合もあります。



MEMO

ここで、右のようなメッセージが表示された場合は、OK ボタンをクリックしてインストーラーをいったん終了させてください。

次に、インストーラーのファイルを右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。これでインストーラーが起動しますので、次のページの手順から続行してください。



次のページへ続く

インストール方法を指定する

インストーラーが起動すると、右図のような画面になります。特に理由がない限り、「**簡単インストール【推奨】**」ボタンをクリックしてください。

「**簡単インストール**」をクリックした場合は、「**ライセンス・キーを入力する (14 ページ)**」へお進みください。



次に示す条件に該当する場合は、「条件を指定してインストール」をクリックしてください。

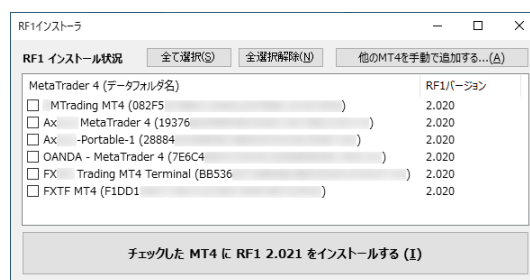
- 複数の MetaTrader 4 をインストールしている場合で、全ての MetaTrader 4 に RF1 をインストールするのではなく、個別にインストール対象の MetaTrader 4 を選択したい場合
- ポータブル・モードでインストールした MetaTrader 4 に RF1 をインストールする場合

インストール先の指定とインストール

(「**条件を指定してインストール**」をクリックした場合のみ)

インストーラーが起動すると右図のような画面になります。インストーラーは MetaTrader 4 のインストール先を検出して表示します。

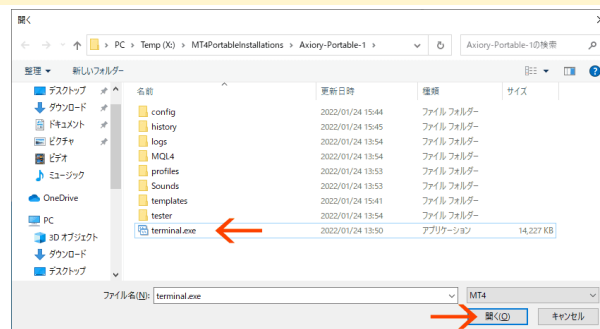
本ソフトウェアをインストールしたい MetaTrader のチェックボックスをチェックして、画面下部の [チェックした MT4 に RF1 V.VVV をインストールする] ボタンを押してください。



MEMO

ポータブル・モードの MetaTrader 4 は自動検出されませんので、手動でリストに追加する必要があります。追加するには、「他の MT4 を手動で追加する」ボタンを押して、ポータブルモードの MetaTrader 4 の実行ファイル (terminal.exe) を指定して開いてください。

指定した MetaTrader 4 の実行ファイルを含むフォルダが「MetaTrader 4 (データフォルダ名)」の一覧に表示されれば、正しく MetaTrader 4 のインストール先として認識されています。

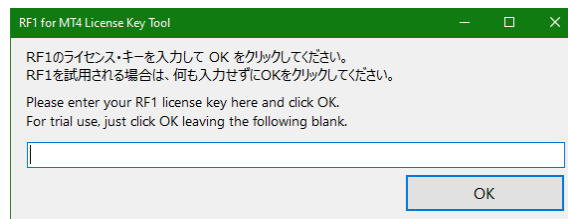


ライセンス・キーを入力する

ライセンス・キーを入力する画面が表示されます。

ライセンス・キーをお持ちの場合は、ライセンス・キーを入力して OK ボタンをクリックしてください。なお、ライセンス・キーは大変長いので、コピー・アンド・ペーストで設定されることをおすすめいたします。

RF1 を試用される場合は、何も入力せずに OK ボタンをクリックしてください。



MEMO

ライセンス・キーのお知らせ方法はライセンスをご購入いただいたサイトによって異なります。ご購入いただいたサイトの商品説明をご確認ください。

MEMO

ここでライセンス・キーを入力しなくても、あとでライセンス・キーを設定できます。本マニュアルの「ライセンス・キーの設定方法」の項目をお読みください。

【重要】2021年9月30日以前にライセンスを購入された方へ

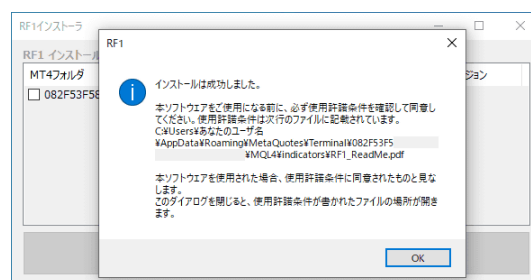
v2.000 以降をお使いになる場合は、**v2.000 以降用の新しいライセンス・キー**をご使用ください。ご購入時にお渡ししたライセンス・キーは、v2.000 以降の RF1 に対しては使用できません。新しいライセンス・キーは 2021 年 10 月 2 日にメールでご案内しています。新しいライセンス・キーが不明な場合は、GogoJungle のメッセージ機能 (<https://www.gogojungle.co.jp/mypage/message/?toUserId=630695&toUserName=素数>) または、「素数のインジケーター」ウェブサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

[次のページへ続く](#)

インストール作業が完了すると、右図のようにメッセージが表示されます。

MEMO

ここで「インストールに失敗しました」と表示される場合は、いったんパソコンを再起動いただき、起動直後にもう一度「インストーラーを起動する」からやり直してください。



OK ボタンを押すと、インストール先にコピーされた本文書の場所がエクスプローラで開きます。

必ず使用許諾条件を確認いただき、内容に同意いただいてから本ソフトウェアをご使用ください。

右図のように、[RF1 バージョン] の表示がインストールしたバージョンに変化していれば、インストールは成功しています。



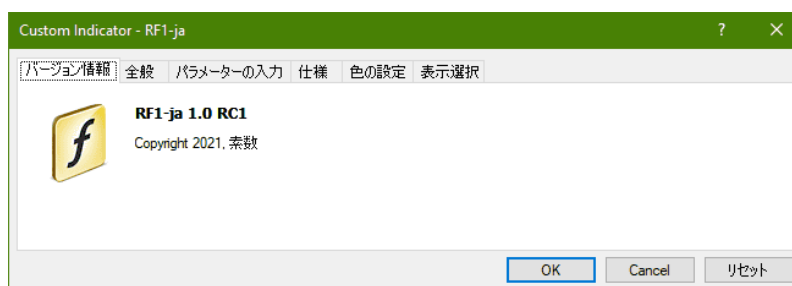
新規インストールではなくバージョン・アップ作業をされている場合は、ここで作業は終了です。

新しく RF1 をインストールされている場合は次のページへお進みください。

[次のページへ続く](#)

チャートへの導入

本インジケータを導入したいチャートを開き、MetaTrader 4 のメニューから [挿入] → [インジケータ] → [カスタム] → [RF1****] を選びます（****の部分は本ソフトウェアの版によって異なります）。下図のようなダイアログが表示されます。

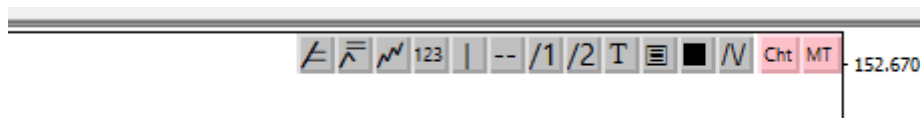


[全般] タブをクリックし、[DLL の使用を許可する] をチェックします。



[OK] ボタンをクリックします。

正しく導入できれば、（標準の設定では）チャートの右上にボタンが表示されます。



お好みで、ショートカット・キーを始めとする各種の設定を変更してください。

設定項目の詳細については、「設定」をお読みください。

MEMO

ここで、チャートに赤い文字で「ライセンス・キーが違います」と表示される場合は、ライセンス・キーが間違っています。「ライセンス・キーの設定方法」をお読みいただき、正しいライセンス・キーを設定してください。

ライセンス・キーの設定方法

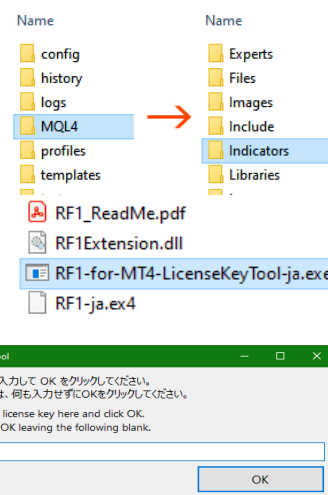
ライセンス・キーは以下の方法のいずれかで設定できます。

1. インストール作業時に設定する方法
2. 設定ツールを使用する方法
3. レジストリ・エディタを使用する方法（Windows について詳しい知識のある方向け）

1. については、本マニュアルの「インストール方法（正式版・試用版共通）」の項目をお読みください。本項では 2. と 3. の手順を説明します。

設定ツールを使用する方法

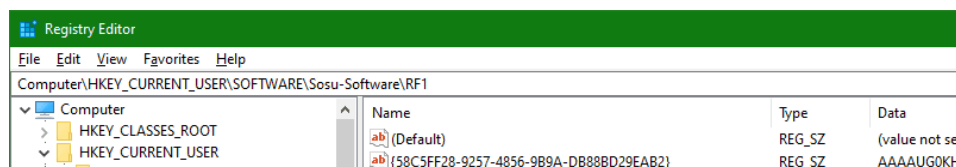
1. RF1 をインストール済みの MetaTrader 4 を起動します。
2. [ファイル] メニューの [データフォルダを開く (D)] をクリックして、データフォルダを開きます。
3. MQL4 → Indicators の順にフォルダを開きます。（右図）
4. RF1-for-MT4-LicenseKeyTool-ja.exe（※末尾の.exe はお使いのパソコンの設定によっては表示されていない場合があります）をダブルクリックして開きます。
5. ライセンス・キーを設定するウィンドウが開きますので、画面の指示に従って設定してください（右図）。なお、ライセンス・キーは大変長いので、コピー・アンド・ペーストで設定されることをおすすめいたします。



レジストリ・エディタを使用する方法

この方法は Windows について詳しい知識のある方向けです。以下の説明の意味が理解できない場合は、絶対にこの方法を実行しないでください。この方法で設定を誤ると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。

1. レジストリ・エディタで HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Sosu-Software\RF1 を開きます。
2. 値「{58C5FF28-9257-4856-9B9A-DB88BD29EAB2}」がない場合は、文字列型で新規作成します。
3. 値「{58C5FF28-9257-4856-9B9A-DB88BD29EAB2}」の値データにあなたのライセンス・キーを設定します。



使用方法

機能の有効化・無効化

以下の機能は、標準では無効になっています。使用される場合は設定で有効化してください。

- トレード描画
- オブジェクト全削除

以下の機能は、標準では有効になっていますが、設定で無効にすることができます。

- チャート・キャプチャー




















ボタンとショートカット・キー

本ソフトウェアの機能呼び出すには、チャート画面上に表示されたボタンか、ショートカット・キーを使用します。いくつかの機能は、ショートカット・キーのみでサポートされ、ボタンはありません。() 内に表示したキーは、デフォルトで設定されているショートカット・キーです。

ショートカット・キーは、他のインジケータとの競合を避けるために一括で無効化することもできます。無効化するには、本ソフトウェアの [パラメータの入力] 画面で、[ショートカットキーを有効にする] を false に設定してください。

機能毎にキーの割り当てを個別に設定で変更したり、無効に設定することもできます。他のインジケータとショートカット・キーが衝突しないように注意して設定してください。

一部の機能は標準では無効になっており、ボタンも表示されません。機能を有効化するには、本ソフトウェアの [パラメータの入力] 画面の [機能の設定] で有効化してください。

-  (R) フィボナッチ・リトレースメントを作成します。
 -  (E) フィボナッチ・エクспанションを作成します。
 -  (W) エリオット波動の番号 (0～5) を作成します。
 -  (Q) 山や谷につける番号 (1～3) を作成します。
 -  (V) 複数のチャート間で共有される垂直線を作成します。
 -  (H) 複数のチャート間で共有される水平線を作成します。
 -  /1 (／) トレンド・ラインを作成します。
 -  /2 (＼) トレンド・ラインを作成します。
 -  T (T) テキストを作成します。
 - (1)～(5) 定型テキストを作成します。
 -  (Y) 複数行テキストを作成します
 -  (M) 長方形を作成します。
 -  /N (N) 連続線を作成します。
 - (6)～(9), (0) オブジェクトの色を事前に設定したものに変更します。
 - (I), (O), (P) 水平線または垂直線の表示時間足を事前に設定したものに変更します。
 -  Cht (;) 複数のチャートを設定に従ってキャプチャーします
 -  MT (:) 現在の MetaTrader 4 の表示をキャプチャーします
 -  本ソフトウェアによって作成した全てのオブジェクトを全てのチャートから削除します。
- ※ 誤操作防止のため、このボタンを動作させるには1秒以内に **5回連続** でクリックする必要があります。
- ※ ショートカット・キーの標準設定は [Ctrl] + [Shift] + D です。
- ※ ショートカット・キーも、1秒以内に **5回連続** で入力すると本機能が動作します。
-  Buy (B) 買いトレードを描画します。 ※ 描画するだけで実際のトレードは行いません
 -  Sell (S) 売りトレードを描画します。 ※ 描画するだけで実際のトレードは行いません
 -  Show 一時的に非表示にしたトレードの描画を再度表示します。
 -  Hide トレードの描画を一時的に非表示にします。

全般的な使用上のご注意

1. 本ソフトウェアによってチャート上に作成したオブジェクトの名前は、絶対に変更しないでください。本ソフトウェアの機能が正しく動作しなくなります。
2. MetaTrader 4 にはオブジェクトの削除を取り消す機能 ([Ctrl] + Z) があります。しかし、本ソフトウェアによってチャート上に作成したオブジェクトを削除した場合、この操作を行ってもオブジェクトを削除前の状態に戻すことはできません。オブジェクトを誤って削除した場合は、改めて作成し直してください。
3. MetaTrader 4 の「表示中のライン等リスト」機能で、「すべて (L)」が有効になった状態のときにだけ表示されるオブジェクトは削除しないでください。
4. 本ソフトウェアに使用期限が設定されている場合、使用期限を過ぎると本ソフトウェアは自動的にチャートから削除されます。ただし、本ソフトウェアによって作成されたオブジェクトは削除されません。
5. 本ソフトウェアをバージョンアップする場合、事前に MetaTrader 4 の標準の機能で本ソフトウェアの設定をバックアップしておくことをおすすめします。本ソフトウェアをバージョンアップすると、設定が初期値に戻される場合があります。
6. 本ソフトウェアは、チャート間でのラインの同期等にイベントを使用します。この番号の範囲が他のインジケータと重複しているとインジケータが誤作動しますので、必要に応じて設定で変更してください。設定を変更する場合、ライン類の同期を取りたいチャート全てに対して同じ値を設定してください。本ソフトウェアが使用するイベント番号の範囲は、標準の設定では 20931～20962 です。この範囲のイベント番号を使用する他のインジケータと本ソフトウェアを同時に使用する場合は、この設定で番号の範囲を移動してください。本ソフトウェアは、指定された番号から連続する 32 個の番号を使用します。

| | |
|-----|-----------------------------------|
| ab | ==== 高度な設定 ==== |
| 123 | このインジケータが使用するイベントID (この番... 20931 |

7. 本ソフトウェアの v2.000 以降のバージョンは RF0 と併用できません。同一のチャートに本ソフトウェアの v2.000 以降と RF0 が両方導入されている場合は、誤動作の原因になりますので、できるだけ速やかに RF0 をチャートから削除してください。

各機能の使用法

(R) フィボナッチ・リトレースメント

作成

ボタンを押すかショートカットキーを押すと、フィボナッチ・リトレースメントのプレビューが表示されます。

マウスを「始点の価格」と「終点の時刻」の交わるあたり（右図のオレンジが濃くなっているあたり）に移動します。作成したい位置にプレビューが表示された状態でクリックすると、フィボナッチ・リトレースメントが作成されます。



レベルの設定を2種類持つことができます。[Ctrl] キーを押しながら作成すると、もう一方のレベル設定で作成されます。

[Shift] キーを押しながら作成すると、フィボナッチ・リトレースメントと同時に拡張オブジェクト 1 を描画できます。

作成後に [Shift] キーを押しながらレベル線をクリックすると、その価格に、チャート間で共有される水平線を作成することができます。この方法で作成した水平線は、フィボナッチ・リトレースメントの高安値を変更しても**追従しません**のでご注意ください。

設定により、1 クリック目で高安値を確定させ、2 クリック目でレベル線の長さを決定するモードで作成することもできます。詳しくは、「フィボナッチの設定 / 共通設定」の「作成操作モード」の項目をご覧ください。

編集

MEMO: 新規作成時の外観の一部やレベル線のセットは[設定](#)で変更できます。マイナスのレベルを設定することもできます。

始点や終点を移動するには、始点と終点を結ぶ線を選択状態にしてからドラッグします。デフォルトでは付近の高安値に吸着しますが、ドラッグ終了時に [Shift] を押していると、吸着しません。

レベル線の終点を移動するには、レベル線を選択状態にしてから、中点、または終点のハンドルをドラッグします。

レベル線を削除するには、レベル線を選択状態にして [Delete] キーを押します。

レベル線を追加するには、始点と終点を結ぶ線を選択状態にし、右クリックから [Fibo プロパティ...] を開きます。開いたダイアログの [フィボナッチ・レベル] で MetaTrader 4 標準のフィボナッチ・リトレースメントと同じ手順で追加します。この手順でレベルを削除することもできます。

レベル線の色を変更するには、レベル線のうちの一つを選択状態にして右クリックし、[Trendline プロパティ...] から設定します。レベル線の1つを変更すると他のレベル線も同じ設定に変更されます。

始点と終点を結ぶ線の色やスタイルを変更するには、始点と終点を結ぶ線をダブルクリックして選択状態にし、右クリックから [Fibo プロパティ...] を開きます。開いたダイアログの [全般] タブで設定します。

フィボナッチ・リトレースメント全体を削除するには、始点と終点を結ぶ線を選択状態にして [Delete] キーを押します。このとき、[Ctrl] キーを同時に押していると、拡張オブジェクト 1 と拡張オブジェクト 2 は削除されません。

(E) フィボナッチ・エクспанション

作成

ボタンを押すかショートカットキーを押すと、フィボナッチ・エクспанションのプレビューが表示されます。

マウスを「始点の価格」と「終点の時刻」の交わるあたり（右図のオレンジが濃くなっているあたり）に移動します。作成したい位置にプレビューが表示された状態でクリックすると、フィボナッチ・エクспанションが作成されます。

レベルの設定を2種類持つことができます。[Ctrl] キーを押しながら作成すると、もう一方のレベル設定で作成されます。

作成後に [Shift] キーを押しながらレベル線をクリックすると、その価格に、チャート間で共有される水平線を作成することができます。フィボナッチ・エクспанションの高安値等を変更しても水平線は**追従しません**のでご注意ください。

作成するフィボナッチ・エクспанションが小さい場合や、ローソクの形状によっては、プレビューが所望の形状にならない場合があります。その場合はいったん作成してから各点を移動してください。

設定により、1 クリック目で3つの頂点を確定させ、2 クリック目でレベル線の長さを決定するモードで作成することもできます。詳しくは、「フィボナッチの設定 / 共通設定」の「作成操作モード」の項目をご覧ください。

編集

MEMO: 新規作成時の外観の一部やレベル線のセットは設定で変更可能です。

始点、中点、終点を移動するには、エクспанション本体を選択状態にしてからドラッグします。

レベル線の終点を移動するには、レベル線を選択状態にしてから、中点、または終点のハンドルをドラッグします。

レベル線を削除するには、レベル線を選択状態にして [Delete] キーを押します。

レベル線を追加するには、エクспанション本体を選択状態にし、右クリックから [Expansion プロパティ...] を開きます。開いたダイアログの [フィボナッチ・レベル] で MetaTrader 4 標準のフィボナッチ・リトレースメントと同じ手順で追加します。この手順でレベルを削除することもできます。

レベル線の色を変更するには、レベル線のうちの一つを選択状態にして右クリックし、[Trendline プロパティ...] から設定します。レベル線の1つを変更すると他のレベル線も同じ設定に変更されます。

始点、中点、終点を結ぶ線の色やスタイルを変更するには、エクспанション本体をダブルクリックして選択状態にし、右クリックから [Expansion プロパティ...] を開きます。開いたダイアログの [全般] タブで設定します。

フィボナッチ・エクспанション全体を削除するには、エクспанション本体を選択状態にして [Delete] キーを押します。

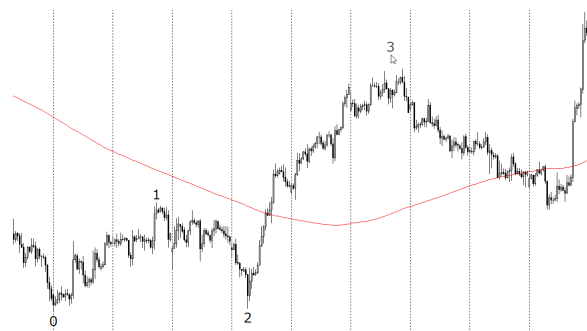


(W) エリオット波動の番号 (0～5) ※設定により、最大 9 番まで

作成

ボタンを押すかショートカットキーを押すと、エリオット波動作成モードに入ります。マウスカーソル付近に“0”が表示されますので、その状態で描画したい位置をクリックすると、“0”が作成されます。続けてクリックすることで“1”～“5”も連続して作成できます。

[Shift] キーを押しながらボタンを押すかショートカットキーを押すと、“[Shift]+ボタンクリック/ショートカット・キーの場合”のフォントと色の設定で番号を作成できます。



番号が 5 番まで必要ない場合は、必要がなくなった時点で、[ESC] キーを押します。

エリオット波動作成モードに入った後に [Shift] キーを押しながらクリックすると、数字が近傍の山や谷に吸着します。

数字を () 付きにするには、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

数字を [] 付きにするには、[Alt] キーを押しながらクリックします。

編集

数字を移動するには、個々の数字を選択状態にしてからドラッグします。ドラッグを終了すると自動的に選択解除されますが、ドラッグ終了時に [Alt] キーを押していると選択解除しません。

数字の文字列を編集する手順は、MetaTrader 4 標準のテキストと同じです。

数字のフォントや色を変更する手順は、MetaTrader 4 標準のテキストと同じです。ただし、数字の一つを変更すると、他の数字にも同じ設定が適用されます。

エリオット波動の番号を削除するには、数字のうちの 1 つを選択状態にして [Delete] キーを押します。なお、数字を個別に選択して削除することはできません。

123 (Q) 山や谷につける番号 (1~3) ※設定により、最大9番まで

作成

ボタンを押すかショートカットキーを押すと、番号作成モードに入ります。マウスカーソル付近に“1”が表示されますので、その状態で1を描画したい位置をクリックします。続いて2と3も同様の手順で作成します。

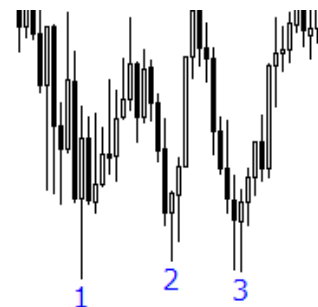
[Shift] キーを押しながらボタンを押すかショートカットキーを押すと、“[Shift]+ボタンクリック/ショートカット・キーの場合”のフォントと色の設定で番号を作成できます。

番号が3番まで必要ない場合は、必要がなくなった時点で、[ESC] キーを押します。

番号作成モードに入った後に [Shift] キーを押しながら作成すると、数字が近傍の山や谷に吸着します。

数字を () 付きにするには、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

数字を [] 付きにするには、[Alt] キーを押しながらクリックします。



編集

数字を移動するには、個々の数字を選択状態にしてからドラッグします。ドラッグを終了すると自動的に選択解除されますが、ドラッグ終了時に [Alt] キーを押していると選択解除しません。

数字の文字列を編集する手順は、MetaTrader 4 標準のテキストと同じです。

数字のフォントや色を変更する手順は、MetaTrader 4 標準のテキストと同じです。ただし、数字の一つを変更すると、他の数字にも同じ設定が適用されます。

山や谷につける番号を削除するには、数字のうちの1つを選択状態にして [Delete] キーを押します。なお、数字を個別に選択して削除することはできません。

(V) 複数のチャート間で共有される垂直線

作成

ボタンを押すと垂直線のプレビューが表示されます。作成したい位置でクリックすると作成されます。

1つのチャートで垂直線を作成すると、本ソフトウェアを導入しているチャート全て（設定により同一通貨のチャートのみか全チャートかを選択可能）に同じ垂直線が自動的に作成されます。

編集

移動、色やスタイルの変更、削除等、MetaTrader 4 標準の垂直線と同様の操作が可能です。

垂直線の便利機能

1つのチャートで垂直線を作成すると、本ソフトウェアを導入しているチャート全てにも同じ垂直線が自動的に作成されます。

垂直線はチャート間で同期します。1つのチャートで垂直線を移動すると、他のチャートの垂直線も同じ時刻に移動します。垂直線の移動先がチャートの視界外になる場合は、自動的に垂直線の位置にチャートが移動します。マルチ・タイムフレーム分析のときに、各時間足での位置が分かるので便利です。

ショートカット・キーの設定で「最も右の垂直線に移動」に設定したキーを押すと、一番右にある垂直線の位置にチャートが移動します。垂直線が連動しているすべてのチャートも同じ時刻に移動します。

[Shift] キーを押しながら垂直線を移動すると、同期している全てのチャートで垂直線がチャートの右端にくるようにチャートがスクロールします。

1つのチャートで垂直線を削除すると、他のチャートの同じ垂直線も削除されます。

特定の時間足で垂直線を表示したくない場合は、[Vertical Line プロパティ…] の [表示選択] タブで、表示したくない時間足のチェックを外してください。「(I), (O), (P) 共有水平線・共有垂直線の表示時間足を変更」機能でも表示時間足を変更できます。

垂直線にマウスカーソルを合わせると、時刻と価格の情報がツールチップで表示されます。

[Shift] キーを押しながら垂直線をクリックすると、時刻と価格の情報がクリップボードにコピーされます。

-- (H) 複数のチャート間で共有される水平線

作成

ボタンを押すと水平線のプレビューが表示されます。作成したい価格でクリックすると作成されます。設定により、トレンドラインを使用した水平線を描くこともできます。この場合は、水平線の始点と終点をクリックすると作成されます。

1つのチャートで水平線を作成すると、本ソフトウェアを導入している同一シンボル（通貨）のチャート全てに同じ水平線が自動的に作成されます。

作成時（MT4の水平線により描画する設定の場合は始点を決定するとき）に[Shift]キーを押していると、そのバーの高値、安値、始値、終値のいずれか一番近い価格に水平線が吸着します。

作成時（MT4の水平線により描画する設定の場合は始点を決定するとき）に[Alt]キーを押していると「線幅([Alt]押下時) (→40 ページ)」の設定の太さで水平線が描画されます。

編集（MT4の水平線により描画する設定の場合）

価格を移動するには、水平線を選択状態にして、所望の価格までドラッグします。または、水平線を選択状態にして、右クリックから[Trendline プロパティ…]を開き、[パラメータ]タブで価格を変更することでも変更できます。

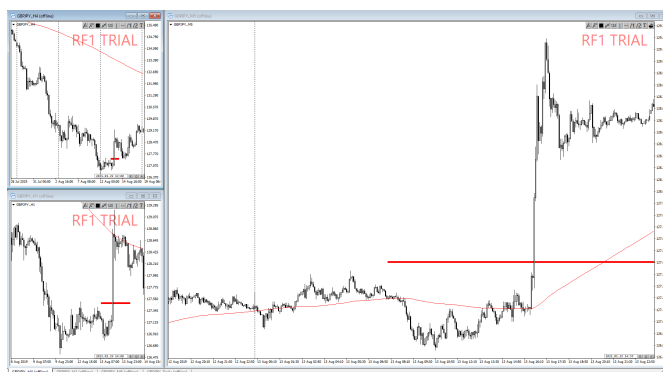
特定の時間足だけ水平線を表示するには、水平線を選択状態にして、右クリックから[Trendline プロパティ…]を開き、[表示選択]タブで、表示したくない時間足のチェックを外してください。「(I), (O), (P) 共有水平線・共有垂直線の表示時間足を変更」機能でも表示時間足を変更できます。

水平線に吸着するラベルをつけるには、水平線を選択状態にして、右クリックから[Trendline プロパティ…]を開き、[全般]タブの[説明]に文字列を入力します。

編集（MT4のトレンドラインにより描画する設定の場合）

始点や終点を移動するには、水平線を選択状態にして、始点か終点を所望の時刻までドラッグします。水平は保たれるので、縦軸の指定は適当でかまいません。

価格を移動するには、水平線を選択状態にして、中点を所望の価格までドラッグします。または、水平線を選択状態にして、右クリックから[Trendline プロパティ…]を開き、[パラメータ]タブで始点か終点のどちらかの価格を変更することでも変更できます。



特定の時間足だけ水平線を表示するには、水平線を選択状態にして、右クリックから[Trendline プロパティ…]を開き、[表示選択]タブで、表示したくない時間足のチェックを外してください。「(I), (O), (P) 共有水平線・共有垂直線の表示時間足を変更」機能でも表示時間足を変更できます。

水平線に吸着するラベルをつけるには、水平線を選択状態にして、右クリックから[Trendline プロパティ…]を開き、[全般]タブの[説明]に文字列を入力します。

(/1 /2) (／) (＼)トレンド・ライン

作成

ボタンを押すか、ショートカット・キーを押すとトレンド・ラインのプレビューが表示されます。

始点と終点を順にクリックすると作成されます。

終点をクリックしたあと、トレンド・ラインを左右に延長する設定が可能です。設定で [始終点確定後の延長量] を設定してください。[Shift] キーを押しながら終点を指定すると、この設定に関係なく延長されません。

トレンドラインの色は2組設定でき、/1, /2 のどちらを使うかで作成時の外観が変わります。

編集

移動、色やスタイルの変更、削除等、MetaTrader 4 標準のトレンド・ラインと同様の操作が可能です。

(T) テキスト

作成

ボタンを押すかショートカット・キーを押し、作成したい位置でクリックすると作成されます。

ローソクよりも上側で作成した場合はアンカー・ポイントが下側中央に、ローソクよりも下側で作成した場合はアンカー・ポイントが上側中央に設定されます。

編集

移動、色やスタイルの変更、削除等、MetaTrader 4 標準のテキストと同様の操作が可能です。

(1)~(5) 定型テキスト

作成

ショートカット・キーを押し、作成したい位置でクリックすると作成されます。あらかじめ設定にてフォントや色、テキストを指定しておいてください。5通りのショートカット・キーに対して、それぞれ [Shift] キーと同時に入力した場合と、ショートカット・キー単独で入力した場合の定型テキストを個別に設定できます。

ローソクよりも上側で作成した場合はアンカー・ポイントが下側中央に、ローソクよりも下側で作成した場合はアンカー・ポイントが上側中央に設定されます。




編集

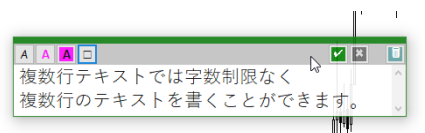
移動、色やスタイルの変更、削除等、MetaTrader 4 標準のテキストと同様の操作が可能です。

(Y) 複数行テキスト








作成

ショートカット・キーを押すと、マウス・カーソル付近に複数行テキストのプレビュー（右図）が表示されます。



作成したい位置でクリックすると、編集モードになります。
文字列、フォント等を設定して  ボタンをクリックすると作成されます。 ボタンまたは  ボタンをクリックすると、作成をキャンセルしてチャートに戻ります。






編集モード画面の各ボタンの機能

-  複数行テキストのフォントを変更します。
-  複数行テキストの文字色を変更します。
-  複数行テキストの背景色を変更します。
-  複数行テキストの大きさを現在のテキストに合わせます。
-  編集結果を確定して編集モードを終了します。
-  編集結果を破棄して編集モードを終了します。
-  複数行テキストをチャートから削除します。

編集

複数行テキストの文字列、フォント、色を変更するには、[Shift] キーを押しながら複数行テキストをクリックします。編集モードに入りますので、作成時と同様に編集してください。 ボタンをクリックすると編集結果が反映されます。 ボタンをクリックすると、変更を破棄してチャートに戻ります。

複数行テキストを削除するには、[Shift] キーを押しながら複数行テキストをクリックして編集モードに入ります。編集モードで  ボタンをクリックすると、複数行テキストが削除されます。または、編集モードでテキストを全部削除して（文字列を空にして） ボタンを押しても削除できます。

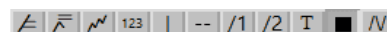
複数行テキストを移動するには、複数行テキストをクリックし、編集モードで編集画面の画面の何もない部分をドラッグします。移動した位置で  ボタンをクリックすると移動結果が反映されます。

MEMO

編集モードの間は、チャートに対するマウスとキーボードによる操作はできません。

複数行テキストの大きさを現在のテキストに合わせる機能では、フォントの設定により誤差が出て、本来のサイズよりやや大きく、または小さく調整される場合があります。

■ (M) 長方形



作成

ボタンを押すかショートカット・キーを押し、始点と終点を順にクリックすると作成されます。



MEMO

[Shift] キーを押すと、始点や終点が始値、高値、安値、終値のうち最も近い点に吸着します。終点を指定するときに [Shift] キーを押している、始点の価格と時刻、終点の価格が固定され、終点の時刻だけをさらにクリックして指定できます。

編集

移動、色の変更、削除等、MetaTrader 4 標準の長方形と同様の操作が可能です。

MEMO

ドラッグを完了するときに [Shift] キーを押している、ドラッグ開始前の価格座標が維持されます。

■ (N) 連続線



作成

ボタンを押すかショートカット・キーを押すと、連続線作成モードに入ります。頂点を順にクリックしていくと連続線が作成されます。



頂点を指定する際に [Shift] キーを押している、近隣の高安値に頂点が吸着します。

頂点を指定する際に [Ctrl] キーを押している、その際に確定する部分については、「背景として表示」がオフの状態で作成されます（前面表示になります）。

連続線を描き終わったら、もう一度ボタンを押すか、[ESC]キーを押すか、ショートカット・キーを押します。これで連続線作成モードが終了し、連続線が確定します。

編集

連続線の実態は「グループ化されたトレンドライン」です。

移動、色やスタイルの変更、削除等、MetaTrader 4 標準のトレンドラインと同様の操作が可能です。

連続線の一部を削除すると、その部分とその部分より後に描いた部分が削除されます。全体を一括で削除するには、最初の部分を削除します。

連続線の一部を移動すると、その前後の部分は新しい頂点座標に合わせて変形します。

連続線の一部のスタイルを変更すると、連続線全体に反映されます。

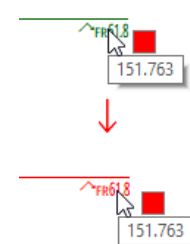
(6)~(9), (0) オブジェクトの色を変更 (定型色)

本ソフトウェアで作成したオブジェクトの色を、あらかじめ設定で指定しておいた色に変更します。

各定型色に対応したショートカット・キーを押すと、マウス・カーソルの右横に選択した定型色が表示されます。この状態で色を変更したいオブジェクトをクリックしてください。5通りのショートカット・キーに対して [Shift] を同時に押すか押さないかで合計 10通りの定型色を**設定**できます。

この機能は、本ソフトウェアで作成されたオブジェクトに対してのみ有効です。

定型色適用モードを終了するには、[ESC] キーを押すか、同じショートカット・キーをもう一度押します。



(I), (O), (P) 共有水平線・共有垂直線の表示時間足を変更

本ソフトウェアで作成した共有水平線や共有垂直線の表示時間足を、あらかじめ設定で指定しておいたものに変更します。

各ショートカット・キーを押すと、マウス・カーソルの右横に時間足が表示されます。この状態で表示時間足を変更したいオブジェクトをクリックしてください。この機能は、本ソフトウェアで作成された共有水平線と共有垂直線に対してのみ有効です。



Cht (;) チャートを設定に従ってキャプチャー

ショートカット・キーを押すと、設定で指定された時間足のチャートを最大化してそれぞれ順にキャプチャーします。事前に各チャートを最大化した状態にして、それぞれキャプチャーしたい状態にチャートを調整しておいてください。

チャートの画像と、キャプチャーされる各チャート内で視界に入っているテキスト・オブジェクト、複数行テキストオブジェクト、および取引マーク（本ソフトウェアの機能で描画したもの）、カーソル位置の情報がキャプチャーされます。

キャプチャー結果は、設定によりファイルかクリップボードに出力できます。ファイルに出力する場合、キャプチャーの結果を自動的に設定したアプリケーションで開くこともできます。クリップボードに出力する場合は注意事項がございますので、本ページ下部の **MEMO** を併せてお読みください。

[Shift] を押しながらショートカット・キーを押すと、キャプチャーした画像に日付と時間足名称を書き込みます。書き込まれる位置はチャートの左端で、上下端のうちチャートの情報をなるべく上書きしない方になります。

MT (:) 現在の MetaTrader 4 の表示をキャプチャー

ショートカット・キーを押すと、MetaTrader 4 の現在表示中の画面をそのままキャプチャーします。テキスト・オブジェクト、複数行テキスト・オブジェクト、トレードは、本機能を発動させたチャートに表示されているものがキャプチャーされます。

キャプチャー結果は、設定によりファイルかクリップボードに出力できます。クリップボードに出力する場合は注意事項がございますので、本ページ下部の **MEMO** を併せてお読みください。

キャプチャー結果をファイルに出力する場合は、ファイルを自動的に設定したアプリケーションで開くこともできます。

[Shift] を押しながらショートカット・キーを押すと、キャプチャーした画像に日付を書き込みます。書き込まれる位置は、ショートカット・キーを押したチャート（例えば 5 分足チャートに挿入した本ソフトウェアで本機能呼び出した場合は 5 分足チャート）の左端で、上下端のうちチャートの情報をなるべく上書きしない方になります。

MEMO

キャプチャー結果をクリップボードに出力する設定の場合で、貼り付け先のアプリケーションが画像とテキストのどちらも扱える場合（例：Microsoft 社の OneNote、Word、Excel ほか Office シリーズの各ソフトウェア、LibreOffice に含まれる各ソフトウェアなど）、テキストか画像のいずれかが優先的に貼り付けられます。この場合、**他方のデータを貼り付けるには「形式を選択して貼り付け」などの機能を使用し、貼り付けるデータ形式を明示的に指定する必要があります**。詳しくは貼り付け先のソフトウェアのマニュアルやヘルプをご確認ください。

(Ctrl+Shift+D) 全てのオブジェクトを全てのチャートから削除

1秒以内に、ボタンを5回続けてクリックするか、ショートカット・キーを5回続けて入力すると、本ソフトウェアによって作成された全てのオブジェクトがチャートから削除されます。

注意・重要

この機能を使用すると、本ソフトウェアによって作成された**全てのオブジェクト**が、本ソフトウェアを導入していて、本機能を有効にしてあり、かつ開いている**全てのチャートから完全に削除**されます。

一時的な検討用のチャートでごちゃごちゃしたものをまっさらになりたい場合には有効な機能ですが、過去の記録等が蓄積されたチャートで本機能を動作させてしまうと悲惨です。危険性をご認識の上で機能を有効化してお使いください。

Buy (B) 買いトレード
Sell (S) 売りトレード

作成

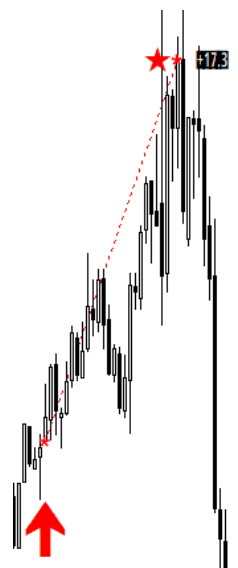
ボタンを押すかショートカットキーを押し、エントリー・ポイントと決済ポイントを順にクリックすると作成されます。

または、設定により、完結した取引を MetaTrader 4 の [口座履歴] からチャートにドラッグ・アンド・ドロップすることによっても作成できます。

エントリー・ポイントを指定するときには、設定により、マウス・カーソル位置のローソクの始値、終値、ヒゲ先のいずれかに吸着します。決済ポイントを指定するときには、設定により、マウス・カーソル位置のローソクの始値、終値、ヒゲ先のいずれかに吸着します。ただし、[Shift]キーを押しながら指定すると、吸着しません。

取引マークを他の時間足と共有する設定の場合は、同一シンボル（通貨ペア）の他の時間足にも同じ取引マークが作成されます。

本機能は実際のトレードを行うためのものではありません。



編集

エントリー・ポイントや決済ポイントを移動するには、* マークを選択状態にしてドラッグします。

トレードを削除するには、エントリー・ポイントか決済ポイントの * マークを選択状態にして [Delete] キーを押します。

トレード描画を一時的に非表示にしたり、再表示するには、**Show** や **Hide** ボタンを押します。

取引マークを他の時間足と共有している場合、エントリー・ポイント、決済ポイント、色を変更すると他の時間足の取引マークにも反映されます。

取引マークを他の時間足と共有している場合、取引マークを削除すると、他の時間足からも削除されます。






損益表示を移動するには、損益表示を選択状態にしてからドラッグします。

設定

ボタンの設定

ボタンを表示する

各種機能を利用するためのボタンを表示するには true に設定します。ショートカット・キーを主に利用される場合は、false に設定してボタンを非表示にすると、チャートを広く見ることができます。

| | | |
|---|------------------|--------------------------|
| ab | ==== ボタンの設定 ==== | |
|  | ボタンを表示する | true |
|  | ボタン表示位置 | Right upper chart corner |
|  | ボタン表示位置オフセット(横) | 0 |
|  | ボタン表示位置オフセット(縦) | 0 |
|  | ボタンのサイズ | 100% |

ボタン表示位置

ボタンをチャートのどの角に表示するかを設定します。

ボタン表示位置オフセット（横）、（縦）

チャートの角からボタンをどれくらい離して表示するかをピクセル数で指定します。他のインジケータとボタンの表示位置が重なる場合、この設定で本ソフトウェアのボタン位置を調整してください。





ボタンのサイズ

ボタンのサイズが大きすぎる場合や、小さすぎる場合は、この設定を変更して調節してください。

機能の設定

Tab キーを押しながらクリックしたオブジェクトを削除する

true に設定すると、本ソフトウェアで作成したオブジェクトを [Tab] キーを押しながらクリックすると削除できます。false にするとこの機能を無効にできます。

| | | |
|---|------------------------------|-------|
| ab | ==== 機能の設定 ==== | |
|  | Tabキーを押しながらクリックしたオブジェクトを削除する | true |
|  | チャート・キャプチャー機能を使用する | true |
|  | オブジェクト一括削除機能を使用する | false |
|  | 取引マーク機能を使用する | true |

MEMO: フィボナッチ・リトレースメント本体をこの方法で削除すると、拡張オブジェクトは削除されずに残ります。

チャート・キャプチャー機能を使用する

チャート・キャプチャー機能を使用する場合は true、使用しない場合は false に設定します。

オブジェクト一括削除機能を使用する

オブジェクト一括削除機能を使用する場合は true、使用しない場合は false に設定します。true に設定する前に、当該機能の注意（32 ページ）をよくお読みください。

取引マーク機能を使用する

この設定を true に変更すると、トレードを描画できるようになります。

ショートカット・キーの設定

ショートカット・キーを有効にする

デフォルトではショートカット・キーは有効 (true) です。

false に設定すると、全てのショートカット・キーが無効になります。他のインジケータとの競合が多数ある場合、本ソフトウェアのショートカット・キーを無効にすることで問題を緩和できる可能性があります。

各機能のショートカット・キー

各機能を呼び出すショートカット・キーをお好みで設定してください。

MEMO

複数の機能に同一のショートカット・キーを設定しないでください。重複がある場合には、チャート左上にその旨のメッセージが表示されます。

▼ GBPJPY,,M5 147.529 147.558 147.504 147.518

RF1: ショートカット・キーに重複があります。

重複しているショートカット・キーは、MetaTrader 4 の [ターミナル] の [エキスパート] タブを開くと表示されています。重複しているショートカット・キーを変更して重複を解消してください。[ターミナル] は [Ctrl] + T で表示できます。

| 時間 | メッセージ |
|-------------------------|--|
| 2021.02.19 21:57:46.325 | RF1_ GBPJPY,,M5: initialized |
| 2021.02.19 21:57:46.325 | RF1_ GBPJPY,,M5: [RF1] ショートカット・キーに重複があります。(フィボナッチ・リトレースメント, フィボナッチ・エクスパンション) |
| 2021.02.19 21:57:46.309 | RF1_ GBPJPY,,M5: uninit reason 5 |
| 2021.02.19 19:43:44.710 | RF1_ GBPJPY,,M5: initialized |

取引 | 運用比率 | 口座履歴 | ニュース | アラーム設定 | メールボックス | マーケット | シグナル | 記事 | ライブラリ | **エキスパート** | 操作履歴

フィボナッチの設定 / 共通設定

フィボナッチ・リトレースメントとフィボナッチ・エクスパンションの外観や作成時の操作方法を設定します。

線幅（本体）、線のスタイル（本体）

高安値を結ぶ線の線幅とスタイルを指定します。スタイルは線幅が1のときのみ有効です。

スタイルの選択肢について、Solid=実線、Dash=破線、Dot = 点線、DashDot=一点鎖線、DashDotDot=二点鎖線です。

| | | |
|-----|-----------------------------|---------------|
| ab | ==== フィボナッチの設定 ==== | |
| ab | ■ 共通設定 | |
| 123 | 線幅(本体) | 1 |
| 123 | 線のスタイル(本体) | Dot |
| 123 | レベルに価格を表示する | false |
| 123 | 標準のレベルフォントを使用する | true |
| ab | レベルフォント(標準のレベルフォントを使用しない場合) | MS Gothic |
| 123 | レベルフォントサイズ | 10 |
| 123 | レベルフォントサイズ(FR/FEの幅が狭い場合) | 9 |
| 123 | レベル線に引く水平線は自身と下位足にのみ作成する | true |
| 123 | レベル線に引く水平線に説明を表示する | true |
| ab | レベル線に引く水平線のラベル(上昇形) | 上昇 |
| ab | レベル線に引く水平線のラベル(下降形) | 下降 |
| 123 | レベル線を背景として表示する | true |
| 123 | 描画操作モード | 1クリックで描画を確定する |

レベルに価格を表示する

true に設定すると、右図のようにレベル線に価格も表示されます。

標準のレベルフォントを使用する

true に設定すると、レベル線の説明を標準のフォントで表示します。この設定が true のとき、直下にあるレベルフォントの設定は無効です。

標準のレベルフォントを使用する場合に限り、レベル表示の前に値動きの方向を示す矢印が付き、下からローソクが来る形ではレベルの説明がレベル線の下側に表示されます（右図：下降のフィボナッチ・リトレースメントの例）。

false に設定すると、レベル線の説明は直下にあるレベルフォントに指定されたフォントで表示されます。この場合、値動きの方向にかかわらず説明は線の上側に表示され、値動きの方向を示す矢印は表示されません。

レベルフォントサイズ / レベルフォントサイズ（FR/FE の幅が狭い場合）

レベル線に表示されるレベル（と価格）のフォントサイズを指定します。

レベル線の長さが概ね 100 ピクセルに満たない場合、レベル線に表示されるレベル（と価格）は「FR/FE の幅が狭い場合」のフォントサイズで表示されます。

レベル線に引く水平線は自身と下位足にのみ作成する

true に設定すると、レベル線に作成する水平線は上位足には複製されなくなります。

レベル線に引く水平線に説明を表示する

true に設定すると、レベル線に作成する水平線に「1h 上昇 FR61.8」のように説明が表示されます。

レベル線に引く水平線のラベル（上昇形／下降形）

レベル線に引く水平線の説明で「1h ○○ FR61.8」の「○○」の部分に入る文字列を指定します。上昇の場合と下降の場合を個別に指定できます。

レベル線を背景として表示する

true に設定すると、レベル線をチャートの背景に描画します。

作成操作モード

「価格→レベル線の順に確定する」に設定すると、1クリック目で頂点を確定させ、2クリック目でレベル線の長さを決定するモードで、フィボナッチを作成します。

フィボナッチの設定 / リトレースメントの設定

上昇形の色、上昇形のレベル線の色

上昇形の場合の色を指定します。

下降形の色、下降形のレベル線の色

下降形の場合の色を指定します。

レベル

本ソフトウェアによって作成されるフィボナッチ・リトレースメントに描画するレベル線のセットを指定します。レベルはコンマで区切り、小数点は“.”を使用して指定してください。

レベル (Ctrl キー押下時)

フィボナッチ・リトレースメントの作成時に [Ctrl] キーを押している、こちらのレベル設定で作成されます。

負のリトレースメントの表示方法

たとえば、-0.618 に対応するレベル線には通常ですと「FR-61.8」のように説明がつきます。この設定を変更すると、たとえば「(FR161.8)」のように、フィボナッチ・リトレースメントのいわゆる「逆当て」をした場合のレベル線表記に変更できます。

この設定を変更すると、すべてのフィボナッチ・リトレースメントが新しい設定に従って再描画されます。この設定は負（マイナス）のレベルを持つレベル線に対してのみ機能します。

拡張オブジェクト 1、拡張オブジェクト 2

オプションで、フィボナッチ・リトレースメントに付随した図形を描画することができます。

レベル 1～レベル 3 は、作成される拡張オブジェクトの縦軸の座標を指定します。始点の価格を 0.0、終点の価格を 1.0 とした比率で指定してください。

時刻 1～時刻 3 は、作成される拡張オブジェクトの横軸の座標を指定します。始点のローソクの時刻を 0.0、終点のローソクの時刻を 1.0 とした比率で指定してください。

拡張オブジェクト 1 は、フィボナッチ・リトレースメントの作成時に [Shift] キーを押している、フィボナッチ・リトレースメントと同時に作成されます。

拡張オブジェクト 1、拡張オブジェクト 2 とも、ショートカット・キーの設定により、表示と非表示を交互に切り替えられます。

| | | |
|----|---------------------|-----------------------------|
| ab | ==== フィボナッチの設定 ==== | |
| ab | ■ リトレースメントの設定 | |
| ab | 上昇形の色 | Red |
| ab | 上昇形のレベル線の色 | Green |
| ab | 下降形の色 | Red |
| ab | 下降形のレベル線の色 | Green |
| ab | レベル | 0.236, 0.382, 0.5, 0.618, 1 |
| ab | レベル (Ctrl キー押下時) | 0.382, 0.618 |
| ab | 負のリトレースメントの表示方法 | そのまま: FR-61.8 |
| ab | ■ 拡張オブジェクト 1 | |
| ab | ト オブジェクトの種類 | なし |
| ab | ト 上昇形の色 | None |
| ab | ト 下降形の色 | None |
| ab | ト フォント | MS Gothic |
| ab | ト フォントサイズ | 10 |
| ab | ト 文字列 | |
| ab | ト レベル 1 | 0.0 |
| ab | ト レベル 2 | 0.0 |
| ab | ト レベル 3 | 0.0 |
| ab | ト 時刻 1 | 0.0 |
| ab | ト 時刻 2 | 0.0 |
| ab | ト 時刻 3 | 0.0 |
| ab | ■ 拡張オブジェクト 2 | |
| ab | ト オブジェクトの種類 | なし |
| ab | ト 上昇形の色 | None |
| ab | ト 下降形の色 | None |
| ab | ト フォント | MS Gothic |
| ab | ト フォントサイズ | 10 |
| ab | ト 文字列 | |
| ab | ト レベル 1 | 0.0 |
| ab | ト レベル 2 | 0.0 |
| ab | ト レベル 3 | 0.0 |
| ab | ト 時刻 1 | 0.0 |
| ab | ト 時刻 2 | 0.0 |
| ab | ト 時刻 3 | 0.0 |

フィボナッチの設定 / エクспанションの設定

上昇形の色、上昇形のレベル線の色

上昇形の場合の色を指定します。

下降形の色、下降形のレベル線の色

下降形の場合の色を指定します。

レベル

本ソフトウェアによって作成されるフィボナッチ・エクспанションに描画するレベル線のセットを指定します。レベルはコンマで区切り、小数点は“.”を使用して指定してください。

レベル (Ctrl キー押下時)

フィボナッチ・エクспанションの作成時に [Ctrl] キーを押しているとき、こちらのレベル設定で作成されます。

| | | |
|-----|----------------|-----------------|
| ab | ■ エクспанションの設定 | |
| 123 | 上昇形の色 | Red |
| 123 | 上昇形のレベル線の色 | Green |
| 123 | 下降形の色 | Red |
| 123 | 下降形のレベル線の色 | Green |
| ab | レベル | 1, 1.618, 2.618 |
| ab | レベル(Ctrlキー押下時) | 1.618, 2.618 |

エリオット波動の設定

エリオット波動の番号のフォントと文字色を設定します。これらの設定は、番号を新規に作成した時に適用されます。この設定を変更しても、作成済みのエリオット波動の番号のフォントや色は変更されません。

エリオットの番号は通常5番までですが、6番以降を描画したい場合は、「番号の最大値」を変更してください。「番号の最大値」を10以上に設定した場合は9に設定した場合と同じ動作となります。

| | | |
|-----|-----------------------------------|-----------|
| ab | ==== エリオット波動の設定 ==== | |
| 123 | 番号の最大値 | 5 |
| ab | ■ 通常の場合 | |
| ab | フォント | Meiryo UI |
| 123 | フォントサイズ | 16 |
| 123 | 文字色 | Black |
| ab | ■ [Shift] + ボタンクリック/ショートカット・キーの場合 | |
| ab | フォント | Meiryo UI |
| 123 | フォントサイズ | 10 |
| 123 | 文字色 | Black |

山（谷）カウントの設定

山（谷）カウントのフォントと文字色を設定します。これらの設定は、番号を新規に作成した時に適用されます。この設定を変更しても、作成済みの山（谷）カウントの番号のフォントや色は変更されません。

山（谷）カウントは通常3番までですが、4番以降を描画したい場合は、「番号の最大値」を変更してください。「番号の最大値」を10以上に設定した場合は9に設定した場合と同じ動作となります。

| | | |
|-----|-----------------------------------|-----------|
| ab | ==== 山(谷)カウントの設定 ==== | |
| 123 | 番号の最大値 | 3 |
| ab | ■ 通常の場合 | |
| ab | フォント | Meiryo UI |
| 123 | フォントサイズ | 12 |
| 123 | 文字色 | Blue |
| ab | ■ [Shift] + ボタンクリック/ショートカット・キーの場合 | |
| ab | フォント | Meiryo UI |
| 123 | フォントサイズ | 9 |
| 123 | 文字色 | Blue |

垂直線の設定

線幅、色

垂直線の作成時の外観を設定します。この設定を変更しても、作成済みの垂直線の外観は変更されません。

| | | |
|-----|-------------------------|-------|
| ab | ==== 垂直線の設定 ==== | |
| 123 | 線幅 | 1 |
| | 色 | Red |
| 123 | 右揃えマージン(バーの本数で指定) | 5 |
| | 他通貨とも連動する | false |
| | 作成後選択解除する | true |
| | 移動・編集後選択解除する | true |
| | 垂直線を1本までに制限する | false |
| | 垂直線がある時は自動スクロールをOFFにする | true |
| | 垂直線が無くなったら自動スクロールをONにする | true |

右揃えマージン

[Shift] キーを押しながら垂直線をドラッグして離すと、垂直線の時刻がチャート右端になるようにスクロールします。このとき、垂直線の右側に設ける余白をバー（ローソク）の本数で指定します。

他通貨とも連動する

true に設定すると、垂直線は本ソフトウェアを導入している他通貨のチャートとも連動します。false に設定すると、垂直線は同一通貨のチャート間でのみ連動します。

作成後選択解除する

true に設定すると、垂直線は作成直後に非選択状態になります。false に設定すると、垂直線が作成直後に選択状態になります。

移動・編集後選択解除する

true に設定すると、垂直線を移動したり、編集ダイアログで [OK] ボタンを押して戻ってくると自動的に垂直線を選択解除します。false に設定すると自動的に選択解除しません。垂直線を続けて移動させる使い方が主体の場合は、この設定を false にすると操作がスムーズになります。

垂直線を1本までに制限する

true に設定すると、2本目の垂直線を作成するときに1本目の垂直線が削除され、チャート上に最大でも1本しか垂直線が存在しない動作になります。

MEMO

複数の垂直線があるチャートでこの設定を false から true に変更すると、すべての垂直線がチャートから削除されます。この設定は垂直線を共有するチャート間で同じ設定にしてください。

垂直線があるときは自動スクロールを OFF にする

垂直線がなくなったら自動スクロールを ON にする

本ソフトウェアで作成した垂直線の有無に応じて、チャートの自動スクロールを ON/OFF することができます。

水平線の設定

水平線の種類

標準では水平線は MetaTrader 4 の水平線で描かれますが、代わりに「水平なトレンドライン」で描かせるように設定できます。

「水平なトレンドライン」で描かせると、水平線を表示する時間範囲を指定できるので、過去に引いた水平線を将来誤認する事故を防げます。

この設定は水平線を共有するチャート間で同じ設定にしてください。

| | |
|----------------------------|------------|
| ==== 水平線の設定 ==== | |
| 水平線の種類 | 水平なトレンドライン |
| 線幅 | 2 |
| 線幅([Alt]押下時) | 10 |
| 線のスタイル(線幅1のときのみ有効) | Dot |
| 色 | Red |
| ラベルのフォント | MS Gothic |
| ラベルのフォントサイズ | 10 |
| 作成後選択解除する | true |
| 移動・編集後選択解除する | true |
| [Alt]+クリックで価格と衝突するまで自動延長する | true |
| 価格との衝突はこの本数を超えては探索しない | 100000 |
| 自動延長した先に自動的に垂直線を作成してジャンプする | true |

線幅、線のスタイル(線幅1のときのみ有効)、色

水平線の作成時の外観を設定します。設定を変更しても、作成済みの水平線の外観は変更されません。

線幅([Alt]押下時)

作成時 (MT4 の水平線により描画する設定の場合は始点を決定するとき) に [Alt] キーを押しているときにこの設定の太さで水平線が描画されます。

ラベルのフォント、ラベルのフォントサイズ

水平線に吸着するラベルのフォントサイズを指定します。

作成後選択解除する

true に設定すると、水平線は作成直後に非選択状態になります。false に設定すると、水平線が作成直後に選択状態になります。

移動・編集後選択解除する

true に設定すると、水平線をドラッグしたり、編集ダイアログでパラメータを編集した後に、水平線の選択を解除します。水平線の位置調整を頻繁にされるなどの理由で選択状態が維持された方が好ましい場合は、この設定を false にしてください。

[Alt]+クリックで価格と衝突するまで自動延長する

true に設定すると、[Alt] キーを押しながら水平線をクリックすることで、次に価格がその水平線と衝突するところまで水平線を自動的に延長します。この設定は「水平線の種類」が「水平線」に設定されている場合は効果がありません。

価格との衝突はこの本数を超えては探索しない

水平線と価格が衝突する位置を探索する際、右側にこの本数分までを探索対象にします。本機能の動作が重たい場合は、この数を少なめに変更すると改善する場合があります。

自動延長した先に自動的に垂直線を作成してジャンプする

true に設定すると、水平線を自動延長した際に、延長した先に自動的に垂直線を作成します。さらに、垂直線の位置に RF1 を導入している全チャートを移動させます。この設定に関しては、水平線の自動延長の操作を行ったチャートの RF1 の設定が全チャートに対して作用します。

トレンドラインの設定

移動・編集後選択解除する

true に設定すると、トレンドラインをドラッグしたり、編集ダイアログでパラメータを編集した後に、トレンドラインの選択を解除します。この設定を true にすると、他のオブジェクトを削除する際に、少し前に編集したトレンドラインを誤って削除してしまうことが防げます。

トレンドラインの位置調整を頻繁にされるなどの理由で選択状態が維持された方が好ましい場合は、この設定を false にしてください。

色、線幅

それぞれ、**/1** **/2** ボタン（または対応するショートカット・キー）で作成するトレンド・ラインの色と線幅を指定します。

始終点確定後の延長量

それぞれ、**/1** **/2** ボタン（または対応するショートカット・キー）でトレンド・ラインを作成する際、終点をクリックしたときに、始終点をこのバーの本数分両側に延長します。延長したくない場合は 0 を設定してください。※この設定に関係なく、終点をクリックするときに [Shift] キーを押していると延長されません。

| | | | | |
|-----|------|----------------------|------|-----------|
| ab | ==== | トレンドラインの設定 | ==== | |
| | | 移動・編集後選択解除する | | true |
| ab | ■ | トレンドライン(1) | | |
| | | 色 | | Turquoise |
| 123 | | 線幅 | | 5 |
| 123 | | 始終点確定後の延長量(バーの本数で指定) | | 10 |
| ab | ■ | トレンドライン(2) | | |
| | | 色 | | Orange |
| 123 | | 線幅 | | 5 |
| 123 | | 始終点確定後の延長量(バーの本数で指定) | | 0 |

テキストの設定

テキストを新規作成するときの文字色、フォント、フォントサイズを設定します。

デフォルトの設定では、テキストを編集後に日本語入力を自動的に OFF にします。ON のまま維持したい場合は、[編集後に IME を OFF にする] を false に設定してください。

定型テキストは、あらかじめ設定しておくことにより、よく入力するテキストをショートカット・キーとクリックで入力する機能です。“(Shift)” がついている設定は、[Shift] キーを押しながらショートカット・キーを押下した場合に適用されます。

定型テキストについては、作成後に選択解除するか、選択された状態にするかを個別に設定できます。

| | |
|-------------------|---------|
| ==== テキストの設定 ==== | |
| 色 | Black |
| フォント | MS ゴシック |
| フォントサイズ | 10 |
| 編集後にIMEをOFFにする | true |
| ■ 定型テキスト 1 | |
| テキスト | Text |
| 色 | Black |
| フォント | MS ゴシック |
| フォントサイズ | 10 |
| 作成後選択解除 | true |
| ■ 定型テキスト (Shift) | |
| テキスト | Text |
| 色 | Black |
| フォント | MS ゴシック |
| フォントサイズ | 10 |
| 作成後選択解除 | true |
| ■ 定型テキスト 2 | |
| テキスト | Text |
| 色 | Black |

複数行テキストの設定

色、フォント、フォントサイズ、太字、イタリック（斜体）

それぞれ、複数行テキストを新規作成するときの文字色、フォント、フォントサイズ、フォントのスタイル（太字、イタリック）を設定します。

新規作成時の幅、新規作成時の高さ

それぞれ、複数行テキストを新規作成するときの幅と高さを指定します。

| | |
|-------------------------|-------|
| ==== 複数行テキストの設定 ==== | |
| 色 | Black |
| フォント | 游ゴシック |
| フォントサイズ | 10 |
| 太字 | false |
| イタリック(斜体) | false |
| 新規作成時の幅 | 320 |
| 新規作成時の高さ | 60 |
| 背景色がチャートの背景色と同じ場合は透過させる | true |

背景色がチャートの背景色と同じ場合は透過させる

この設定を true にすると、複数行テキストの背景色がチャートの背景色と同じ場合、複数行テキストの背景色を透過させます。

背景色を透過させたくない場合（v2.016 までと同様の動作としたい場合）は、この設定を false に変更してください。

初期設定は true です。




長方形の設定

色

長方形の新規作成時の色を設定します。

移動・編集後選択解除する

標準では false に設定されています。true に変更すると、長方形をドラッグしたり、編集ダイアログでパラメータを編集した後に、選択を解除します。

| | | |
|---|------------------|---|
| ab | ==== 長方形の設定 ==== | |
|  | 色 |  SkyBlue |
|  | 移動・編集後選択解除する | true |

連続線の設定

色





連続線の新規作成時の色を設定します。

線幅

連続線の新規作成時の線幅を設定します。

移動・編集後選択解除する

true に設定すると、連続線の一部をドラッグしたり、編集ダイアログでパラメータを編集した後に、選択を解除します。位置調整を頻繁にされるなどの理由で選択状態が維持された方が好ましい場合は、この設定を false にしてください。

| | | |
|---|------------------|--|
| ab | ==== 連続線の設定 ==== | |
|  | 色 |  Orange |
|  | 線幅 | 5 |
|  | 移動・編集後選択解除する | true |

取引マークの設定

利益表示のサイズ、取引マークのサイズ、 エントリー矢印のサイズ、決済マーク(★,×)のサイズ

それぞれ、図で示した位置のサイズを指定します。この設定を変更すると、作成済みのものも含めて全ての取引マークが新しい設定で表示されます。

取引マークの種類

下記の2種類から選択できます。この設定を変更すると、作成済みのものも含めて全ての取引マークが新しい設定で表示されます。

ArrowStarCross

決済ポイントを小さな★（損切りの場合は×）で示し、さらにエントリー・ポイントを矢印で示します。

Direct

エントリー・ポイントと決済ポイントを“>”、“<”マークで示します。

買いトレードの色、売りトレードの色

新規で作成する取引マークは、エントリー・ポイント、決済ポイント、その両者をつなぐ線がこの色で表示されます。この設定を変更しても、作成済みの取引マークには影響しません。

利益(損失)表示の文字色、背景色

利益や損失の額を表示しているラベルの色を設定します。この設定を変更すると、作成済みのものも含めて全ての取引マークが新しい設定で表示されます。

エントリーと決済をつなぐ線を表示する

true に設定すると、エントリー・ポイントと決済ポイントをつなぐ点線を表示します。false に設定すると、表示しません。この設定を変更すると、作成済みのものも含めて全ての取引マークが新しい設定で表示されます。

エントリー・ポイントの吸着点 / 決済ポイントの吸着点

取引マークを作成する際、エントリー・ポイント、決済ポイントを指定するときにそれぞれローソク（バー）のどの位置に吸着するかを指定します。始値、終値、ヒゲ先から選択できます。

この設定によらず、エントリー・ポイントや決済ポイントをクリックする際に [Shift] キーを押しているると吸着しません。

標準の取引マークを RF1 のもので置き換える

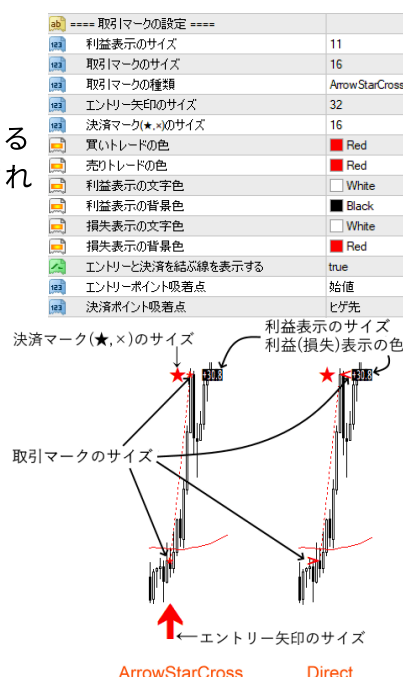
true に設定すると、MetaTrader 4 の [口座履歴] から完結したトレードをドラッグ・アンド・ドロップした場合や、CR1 for MT4 のトレードパネルからトレードをチャートに描画した場合、MetaTrader 4 の取引マークに代えて RF1 の取引マークを描画します。

他の時間足と取引マークを共有する

true に設定すると、取引マークは同一シンボル（通貨ペア）の他の時間足とも共有されます。

固定スプレッド (pips)

買いトレードのエントリー時、売りトレードの決済時に、ここに入力されたスプレッドを考慮して吸着点を計算します。お使いのブローカーの標準的なスプレッドを入力しておくことをお勧めします。スプレッドがうまく反映されない場合は、「価格と pips の変換比率」の設定もご確認ください。



色の設定（定型色）

本ソフトウェアで作成したオブジェクトの色を、ワンキーで変更する機能です。5通りのショートカット・キーに対して、それぞれ [Shift] を同時に押すか否かで合計 10通りの色を割り当てることができます。

ショートカット・キーを押すと、カーソルの横に定型色が表示されます。その状態で色を変更したいオブジェクトをクリックしてください。

| | | |
|------------|----------------|----------------|
| ab | ==== 色の設定 ==== | |
| 色1 | | Black |
| 色1 (Shift) | | Gray |
| 色2 | | Red |
| 色2 (Shift) | | Pink |
| 色3 | | Blue |
| 色3 (Shift) | | LightBlue |
| 色4 | | Goldenrod |
| 色4 (Shift) | | LightGoldenrod |
| 色5 | | DarkGreen |
| 色5 (Shift) | | LightGreen |

水平線と垂直線の表示時間足設定

本ソフトウェアで作成した水平線と垂直線の表示時間足をワンキーで変更する機能です。3通りまで設定でき、それぞれにショートカット・キーを割り当てることができます。

| | | |
|--------|---------------------------|------------|
| ab | ==== 水平線と垂直線の表示時間足設定 ==== | |
| 表示時間足1 | | 4H, 1H, 5m |
| 表示時間足2 | | 1H, 5m |
| 表示時間足3 | | 5m |

表示したい時間足はコンマ区切りで指定します。ただし、○時間足は「○H」、○分足は「○m」、日足は「1D」、週足は「1W」、月足は「1MN」、全ての時間足は「All」と記述します。

チャート・キャプチャーの設定

キャプチャー対象

チャート画像、テキスト、トレードのどの項目をキャプチャーするかを指定します。

「自動」を選択すると、クリップボードに出力する設定の場合は「チャート、テキスト、トレード」を選んだ場合と同じ動作になり、それ以外の場合は「チャートのみ」を選んだ場合と同じ動作になります。

| | | |
|----|-------------------------------|---|
| ab | ==== チャート・キャプチャーの設定 ==== | |
| tr | キャプチャー対象 | 自動 |
| ab | キャプチャーする時間足 | 4H, 1H, 5m |
| tr | チャートの配置 | すべてのチャートを垂直に並べる |
| ab | ファイルの保存先フォルダ | {Clipboard} |
| ab | ファイル名 | RFCapture- |
| ab | キャプチャー・タイトルのフォント | Meiryo UI |
| tr | キャプチャー・タイトルのフォントサイズ | 28 |
| ab | キャプチャー・タイトルの色 | Red |
| tr | キャプチャーに書き込み日付の書式 | 2021.12.31 |
| tr | トレード・キャプチャーの書式 | <売買> <エントリー時刻> <エントリー価格> <決済時刻> <決済価格> <利益> |
| tr | トレード・キャプチャーの売買の表記 | 買(\\売り) |
| tr | トレード・キャプチャーの項目区切り文字 | TAB |
| tr | キャプチャーを自動開始(アプリケーションで開く) | true |
| ab | キャプチャーを開く(アプリケーション(チャート画像)) | |
| ab | キャプチャーを開く(アプリケーション(テキスト)) | |
| tr | チャートサイズ変更後に再描画を強制する | true |
| tr | チャートサイズ変更後の待ち時間(0~1000ms) | 100 |
| tr | この文字数以下の文字列はキャプチャーしない | 2 |
| tr | クリップボードにキャプチャー完了したらメッセージで知らせる | true |

キャプチャーする時間足

「チャートを設定に従ってキャプチャー」のショートカット・キーが押されたときにキャプチャーしたいチャートの時間足を、コンマ区切りで指定します。指定できる値は、1MN, 1W, 1D, 4H, 1H, 30m, 15m, 5m, 1m の組み合わせです。

同一シンボル（通貨ペア）のこの時間足のチャートが自動的にキャプチャーされます。

同一シンボルかつ同一時間足のチャートが複数開いている場合、いずれかのチャート 1 枚がキャプチャーされます。このような場合、どのチャートがキャプチャーされるかは仕様上保証されません。この機能は、同一シンボルかつ同一時間足のチャートが 1 つに特定できる状態でお使いください。

チャートの配置

キャプチャーした複数のチャートをどのように記録するかを指定します。

チャートごとにファイルを分ける

キャプチャーしたチャートごとに別個の画像を生成します。この設定とする場合、[ファイルの保存先フォルダ] には “[Clipboard]” を設定しないでください。 “[Clipboard]” を設定した場合、[キャプチャーする時間足] で設定した先頭の時間足だけがクリップボードに保存され、その他の時間足の画像は捨てられてしまいます。

すべてのチャートを垂直に並べる

キャプチャーしたチャートは上から下に順に並べられて 1 枚の画像になります。

すべてのチャートを左上から並べる

キャプチャーしたチャートは左上から右下に向かって並べられます。横方向と縦方向の枚数はなるべく同じになるように配置されます。たとえば、4 つの時間足を指定する場合は横 2×縦 2 枚の配置となり、指定された時間足の画像が左上、右上、左下、右下の順で配置されます。

チャートの保存先フォルダ

キャプチャーした画像およびテキストの保存先フォルダを、絶対パスか、**{Clipboard}** で指定します。200 字以内で設定してください。パスの指定には次の特別な値や変数を使用できます。

| 特別な値／変数 | 使い方・効果 |
|--------------------|--|
| {Clipboard} | 画像とテキストは、ファイルではなくクリップボードに保存されます。 ※この値は、必ず単独で指定する必要があります。 |
| {Desktop} | デスクトップのパスを表す文字列（末尾のフォルダ区切り記号を含まない）に置き換わります。 ※チャートの保存先フォルダの先頭に書く場合に限り使用できます。 |
| {Symbol} | シンボル（通貨ペア名）を表す文字列に置き換わります。 |

MEMO

フォルダ名がピリオド（.）で終わる場合、末尾のピリオドは取り除かれます。

ファイル名

キャプチャーした画像とテキストのファイル名を指定します。ファイル名の指定には、次の特別な値や変数を使用できます。実際のファイル名は、ここで指定した文字列に加え、キャプチャーした時刻と拡張子“.png”、“.txt”が付加されたものになります。[チャートの配置]の設定が「チャートごとにファイルを分ける」の場合、画像ファイルについてはさらにファイル名部分に連番が付加されます。

| 特別な値／変数 | 使い方・効果 |
|--------------------|--|
| {Symbol} | シンボル（通貨ペア名）を表す文字列に置き換わります。 |
| {Timeframe} | 「チャートを設定に従ってキャプチャー」機能を使用した場合で、かつ、[チャートの配置]の設定が「チャートごとにファイルを分ける」の場合は、チャートの時間足を表す文字列（例：「1 時間足」）に置き換わります。それ以外の場合は、空文字列に置き換わります。 |

キャプチャー・タイトルのフォント、フォントサイズ、色

キャプチャーのショートカット・キー入力時に [Shift] キーを押して日付や時間足を書き込む場合に使用するフォントや色を指定します。

キャプチャーに書き込む日付の書式

キャプチャー機能で使用する日付の書式を指定します。キャプチャー画像に書き込まれる日付やキャプチャーされたトレードのエントリー日時や決済日時、キャプチャーされたテキストの配置位置など、日付が出力される場所では、この設定に基づいた書式で出力されます。

トレード・キャプチャーの書式

テキスト・ファイルやクリップボードにキャプチャーされるトレードで、出力する項目やそれらの順序を指定します。

トレード・キャプチャーの売買の表記

テキスト・ファイルやクリップボードにキャプチャーされるトレードで、<売買> の項目の表記方法を指定します。

トレード・キャプチャーの項目区切り文字

「トレード・キャプチャーの書式」で指定した各項目の間は、この設定で指定した文字で区切られます

キャプチャーを自動的にアプリケーションで開く

true に設定すると、キャプチャー終了直後にキャプチャーした画像とテキスト・ファイルをそれぞれ指定のアプリケーションで開きます。キャプチャー結果に編集を加えたい場合に便利です。

キャプチャーを開くアプリケーション（チャート画像）

[キャプチャーを自動的にアプリケーションで開く] を true に設定した場合に、画像を開くアプリケーションの実行ファイルのパスを指定します。何も指定しない場合は、拡張子 .png に関連づけられているアプリケーションが使用されます。

キャプチャーを開くアプリケーション（テキスト）

[キャプチャーを自動的にアプリケーションで開く] を true に設定した場合に、テキストやトレードのキャプチャー結果を開くアプリケーションの実行ファイルのパスを指定します。何も指定しない場合は、拡張子 .txt に関連づけられているアプリケーションが使用されます。

チャートサイズ変更後に再描画を強制する

true に設定すると、「チャートを設定に従ってキャプチャー」の際に本ソフトウェアがチャートを最大化した後、チャートを強制的に再描画します。特段の理由がない限りは true に設定してください。使用上の不都合が発生した場合はこの設定を false に変更してみると解決する可能性があります。

チャートサイズ変更後の待ち時間

「チャートを設定に従ってキャプチャー」の際に本ソフトウェアがチャートを最大化した後、キャプチャーを実行するまでの待ち時間を 1/1000 秒単位で設定します。

インジケーターによっては、チャートのサイズが変わったときに適切に再描画されるまで、多少時間がかかるものがあります。そのようなインジケーターの表示が乱れた状態でキャプチャーされる場合は、この設定値を大きくすることにより解消する可能性があります。

この文字数以下の文字列はキャプチャーしない

ここで指定した文字数以下の長さの文字列はキャプチャーされません。チャートに記号を配置する目的で使用しているテキスト・オブジェクトなど、キャプチャーしても意味がないテキストオブジェクトをフィルターしたい場合は、この設定を調整してください。

クリップボードにキャプチャー完了したらメッセージで知らせる

この設定を true にすると、キャプチャーしたチャートをクリップボードに出力する設定の場合、キャプチャー完了後にメッセージを表示してお知らせします。このお知らせが不要な場合は、この設定を false に設定してください。

通貨ペアの設定

価格と pips の変換比率

価格を pips 表示変換する際の比率を設定します。特に問題がない場合は「自動判定」に設定してください。自動判定では正しく換算されない場合は、正しい変換比率を選んで設定してください。

| | |
|-------------------|-------------------------------|
| ==== 通貨ペアの設定 ==== | |
| 123 価格とpipsの変換比率 | 自動判定 |
| | 自動判定 |
| | 1 pip = 0.00001通貨単位 |
| | 1 pip = 0.0001通貨単位 (EURUSDなど) |
| | 1 pip = 0.001通貨単位 |
| | 1 pip = 0.01通貨単位 (USDJPYなど) |
| | 1 pip = 0.1通貨単位 |
| | 1 pip = 1通貨単位 |

高度な設定

この設定は明確な理由がない限り変更しないでください。

他のインジケータと使用するイベント番号の範囲が重複していると、本ソフトウェアと他のインジケータの両方が誤作動を起こします。その問題が発生したという確証があり、本設定を変更することで解決する目処がある場合に限って、この設定を変更してください。設定を変更する場合は、本ソフトウェアを導入した全てのチャートで同じ番号に設定してください。

| | | |
|-----|--|-------|
| ab | ==== 高度な設定 ==== | |
| 123 | このインジケータが使用するイベントID (この番号から32個を使用します。... | 20899 |

トラブル・シューティング（こんなときは）

チャート左上に「設定で DLL の使用を許可してください」と表示される

＜想定される原因と対策＞

- RF1 に対して DLL を使用する許可が設定されていません。
○ 「チャートへの導入」の説明に従い、RF1 が DLL をロードして使用できるように設定してください。

▼ GBPJPY_M5

RF1: 設定でDLLの使用を許可してください。

チャート左上に「ライセンス・キーが違います」と表示される

＜想定される原因と対策＞

- ライセンス・キーが間違っている、またはライセンス・キーを入力する欄が間違っている
○ 「ライセンス・キーの設定方法」の説明に従い、あなたのライセンス・キーを正しく入力してください。
○ ライセンス・キーのご案内にライセンス・キーが複数行にわたって記載されていた場合は、すべての文字を間違いなく連結し、1行で入力してください。ライセンス・キーに空白文字は含まれません。行を連結した際に行の境目に空白文字を残していないかも確認してください。
- 2021年9月30日以前**にライセンスをご購入された方で、古いライセンス・キーを使用している
○ 2021年10月2日にお送りしているv2.000以降用のライセンス・キーをご使用ください。

▼ GBPJPY_M5

RF1: ライセンス・キーが違います。

チャート左上に「ライセンス有効期限切れ」と表示される

＜想定される原因と対策＞

- 有効期限のあるライセンスを使用しており、その有効期限が過ぎた。
○ 新しいライセンスをお求めください。
○ 無期限ライセンスであるにもかかわらずこのメッセージが表示された場合は、販路別に設定されている方法でお問い合わせください。

▼ GBPJPY_M5

RF1: ライセンス有効期限切れ 2021.02.19

チャート左上に「ショートカット・キーに重複があります」と表示される

＜想定される原因と対策＞

- ショートカット・キーの設定で、同一のキーが複数の項目に割り当てられています。
○ 「ショートカット・キーの設定」の説明をお読みいただき、ショートカット・キーの重複を解消してください。

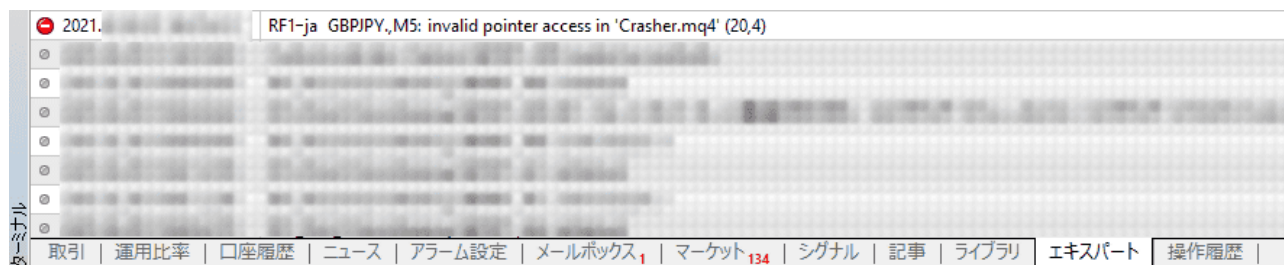
▼ GBPJPY_M5

RF1: ショートカット・キーに重複があります。

RF1 が全く動作しない ／ RF1 が強制終了したようだ

ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。まことに恐れ入りますが、販路毎に設定された方法でお問い合わせをお願いいたします。

お問い合わせの際は、原因の調査をスムーズに進めるため、お手数でも、MetaTrader 4 の [ターミナル] を開き、[エキスパート] タブの画面キャプチャを併せてお送りいただけますようお願い申し上げます。特に強制終了に関する項目は、行の左端に赤いマーク（下図）がつきますので、その行が含まれるようにご配慮願います。



RF1 の使用を中止したが、チャート上に残ったボタンやエラー・メッセージや作成済みのオブジェクトを消す方法が分からない

恐れ入りますが、以下の手順に従い、手作業での削除をお願いいたします。

1. チャート上で右クリックし、[表示中のライン等] をクリックします。
2. オブジェクトの一覧が表示されますので、[すべて (L)] をクリックして、普段は表示されないオブジェクトも含めて全てのオブジェクトを表示させます。
3. 画面上部の [名前] と書かれたところをクリックし、名前順でオブジェクトを並べ替えます。
4. 名前が `##^zP_` または `##^zQ_` で始まっているオブジェクトを全て削除します。

RF1 の動作がいろいろとおかしい

RF1 の動作がおかしい場合、1つのチャートに RF1 を複数導入してしまっている場合が多々あります。まず、以下の手順で RF1 を複数導入していないか確認して、複数導入していた場合は 1つだけになるように修正してください。

1. チャート上で右クリックし、[表示中のインディケータ] をクリックします。
2. 表示された画面に、右図のように RF1-**が複数存在する場合は **問題あり**です。RF1-**をいったんすべて削除して、もう一度 1つだけ導入してください。

RF1-**が 1つしかない場合は問題ありません。



ライセンス・キーの適正な使用の推進について

ライセンス・キーを使用許諾条件に従って適正に使用いただき、ライセンスを取得されたお客様の権利を不正な使用から保護するため、RF1 は、ライセンス・キーの使用状況に関する情報を、作者または著作権者へ定期的に送信します。

送信される情報は、商品コード（RF1 日本語版の場合は“RF1-JA-MT4”）、バージョン、暗号化されたライセンス・キーです。受信側ではこれらの情報と、送信元の IP アドレスを記録します。

情報が送信された場合は、「エキスパート」タブに以下のようなメッセージでお知らせいたします。

© 2022.11.09 20:28:44.146 RF1-ja GBPJPY_M5: ライセンス情報を送信しました: RF1-JA-MT4 / 2.000 / EddIqwa8xQfZretjF5vOOkjUxPIbyujw5HwfTw

送信される情報の安全性は大丈夫ですか？

これらの情報は TLS により暗号化されて送信されます。また、ライセンス・キーは、情報の大部分を欠落させた上で暗号化されていますので、万が一通信中に第三者がこの情報を盗み見ることができたとしても、ライセンス・キーを復元することはできません。

また、送信される情報には第三者が個人を特定できる情報は含まれていません。

送信された情報はどのように使われますか？

送信いただいた情報は、ライセンス・キーの不正な使用を検出する目的に限って使用します。情報はプログラムによって処理され、プログラムによって一定程度不正の疑いがあると判断された場合に限り、該当するデータだけが手動で精査されます。

同じライセンス・キーを複数台のパソコンで使っていますが、不正使用と見なされたりしませんか？

RF1 のライセンスはお客様個人に対して発行しています。ライセンスを購入されたお客様がお使いになる限り、複数台のパソコン、複数の口座、複数の MetaTrader 4 で使用してもまったく問題ありませんので、ご安心ください。不正を検出する方法や基準は開示いたしませんので、あらかじめご了承ください。

バージョン履歴

1.000 (2021 年 2 月 22 日)

- ・ 正式版初版

1.002 (2021 年 3 月 10 日)

- ・ [新機能] テキスト編集後に IME（日本語入力）を OFF にする機能と設定を追加しました。
- ・ [不具合修正] フィボナッチ・リトレースメント、フィボナッチ・エクスパンションのレベル線に引いた水平線が、作成した以外の時間足のチャートでは価格が変更できてしまう不具合を修正しました。
- ・ [不具合修正] トレンド・ラインの始点をクリックした後に作成を取りやめた場合、次回トレンド・ライン作成時に始点が 1970 年 1 月 1 日になってしまう不具合を修正しました。

1.003 (2021 年 3 月 18 日)

- ・ [新機能] Tab キーを押しながらオブジェクトをクリックすると削除できる機能を追加しました。（有効／無効を設定で切り替え可）
- ・ [新機能] 垂直線を 1 本に制限する設定を追加しました。
- ・ [新機能] 垂直線が存在する場合に自動スクロールを OFF にする設定を追加しました。
- ・ [新機能] 垂直線をすべて削除した際に自動スクロールを ON にする設定を追加しました。
- ・ [新機能] 最も右の垂直線の位置にチャートを移動する機能を追加しました。（ショートカット・キーのみ対応）
- ・ [新機能] FR 拡張オブジェクトを残して FR 本体を削除する機能を追加しました。
- ・ [新機能] 取引マークのエントリーと決済を結ぶ点線の表示／非表示を選択できるようになりました。
- ・ [新機能] 取引マークを作成する際、エントリーと決済の吸着位置を選択できるようになりました。
- ・ [新機能] トレンド・ラインの延長設定を、トレンド・ライン 1 と 2 で独立に設定できるようになりました。
- ・ [仕様変更] 定型色の適用は、「オブジェクトを選択してからショートカット・キーを押す」仕様でしたが、本バージョンより「ショートカット・キーを押してからオブジェクトをクリックする」に変更しました。

1.004 (2021 年 3 月 22 日)

- [新機能] 水平線に吸着するラベルがチャートの視界外に配置されている場合、チャートの左端または右端に表示されるようになりました。
- [新機能] テレンド・ラインを編集した後、選択解除するかしないかを選択できるようになりました。
- [仕様変更] フィボナッチ・リトレースメント本体を [Tab] + クリックで削除した場合は、拡張オブジェクトが削除されずに残る動作に変更しました。
- [不具合修正] フィボナッチ・リトレースメントを [Ctrl] + [Delete] で削除して残した拡張オブジェクトが [Tab] + クリックで削除できなくなる不具合を修正しました。（注：この修正は既に不具合状態になった拡張オブジェクトに対しては効果がありません。そのような拡張オブジェクトは選択して [Delete] キーにより削除してください。）
- [不具合修正] 垂直線の「作成後に選択解除」を false に設定していても、他チャートで作成された垂直線の複製は非選択状態で作成される不具合を修正しました。

1.005 (2021 年 3 月 24 日)

- [新機能] エリオット波動の番号、山や谷につける番号を作成するモードに入る際、[Shift] キーを押しながら、ボタンまたはショートカット・キーを押すと、2 通り目のフォントと色で番号が作成されるようになりました。
- [新機能・仕様変更] フィボナッチ・リトレースメントのレベル線を [Ctrl] + [Shift] + クリックして水平線を作成する際、デフォルトでは自身と下位足にのみ複製するように変更しました。（設定により、前バージョンまでと同様、全時間足に複製することもできます。）
- [新機能・仕様変更] フィボナッチ・リトレースメントのレベル線に付けるラベルの “Up”, “Down” の文字列を設定により変更可能としました。併せて、デフォルトでは “上昇”, “下降” と日本語で表記されるように変更しました。
- [不具合修正] フィボナッチ・リトレースメントのレベル線を [Ctrl] + [Shift] + クリックして水平線を作成すると、レベル線のフォントが標準フォントでない場合、水平線のラベルテキストが不正になる（FR, FE の F が欠落する）不具合を修正しました。

1.006 (2021 年 3 月 29 日)

- [新機能] MetaTrader 4 の [口座履歴] から取引をチャートにドラッグアンドドロップすると、取引マークが作成できる設定を追加しました。この設定はデフォルトで true になっていますが、実際に使用するには「取引マーク機能を使用する」も true に設定する必要があります。
- [新機能] フィボナッチ・リトレースメント、フィボナッチ・エクスパンションのレベル線に作成する水平線に、説明のテキストをつけるかつけないかを選択できるようになりました。
- [仕様変更] 水平線、垂直線に対する表示時間足の適用は、「オブジェクトを選択してからショートカット・キーを押す」仕様でしたが、本バージョンより「ショートカット・キーを押してからオブジェクトをクリックする」に変更しました。
- [不具合修正] フィボナッチ・リトレースメント、フィボナッチ・エクスパンションのレベル線に作成する水平線について、「自身と下位足にのみ作成する」オプションを false に設定しても上位足に作成されない不具合を修正しました。
- [不具合修正] 拡張オブジェクトを残してフィボナッチ・リトレースメントを削除した場合、「すべてのオブジェクトをすべてのチャートから削除」機能で拡張オブジェクトが削除されない不具合を修正しました。

1.007(2021 年 5 月 16 日)

- [仕様変更] 「全てのオブジェクトを全てのチャートから削除」機能のショートカット・キーを [Ctrl] + [Shift] + [Alt] + [設定したキー] から、 [Ctrl] + [Alt] + [設定したキー] に変更しました ([Shift] を削除)。
 - 一部環境で [Ctrl], [Shift], [Alt] をすべて押下しているとキー入力イベントがインジケータに通知されない場合がありますので、上記の通り変更します。

1.008 (2021 年 5 月 17 日)

- [仕様変更] 「全てのオブジェクトを全てのチャートから削除」機能のショートカット・キーを [Ctrl] + [Alt] + [設定したキー] から、 [Ctrl] + [Shift] + [設定したキー] に変更しました ([Alt] を [Shift] に変更)。
 - キーボードによるオブジェクト削除時の挙動（取引マークが削除されるか否か）を v1.006 と合わせるため、[Alt] に代えて [Shift] キーを使うように変更します。

1.009 (2021 年 5 月 19 日)

- [不具合修正] 共有水平線を操作したときに、まれに RF1 が強制終了する場合がある不具合を修正しました。
- [不具合修正] パラメータ入力画面において、「全てのオブジェクトを全てのチャートから削除」機能のショートカット・キーの修飾キーが [Ctrl] + [Alt] + … と誤記されていたのを [Ctrl] + [Shift] + … に修正しました。

1.010 (2021 年 6 月 26 日)

- [新機能] 長方形描画機能を追加しました。
- [新機能] 連続線描画機能を追加しました。
- [新機能] ボタンのサイズを標準サイズの 50, 75, 100, 125, 150, 200%のいずれかに変更できるようになりました。
- [新機能] 水平線を作成した、または編集した後に、選択解除するかしないかを選択できるようになりました。
- [不具合修正] Windows の設定で画面のテキストサイズを 100%超に設定している場合、ボタン内の表示が大きすぎてボタン枠からはみ出す不具合を修正しました。

2.000 (2021 年 9 月 25 日)

- [新機能] 複数行テキスト描画機能を追加しました。
- [新機能] チャート画面のキャプチャー機能を追加しました。
- [仕様変更] ライセンス・キーの体系を変更しました。前バージョンからのユーザの方は、別途ご案内した v2.000 以降用の新しいライセンス・キーをご使用ください。

2.001 (2021 年 10 月 4 日)

- [仕様変更] 試用版の動作のみの変更です。試用中に作成したオブジェクトが削除される旨のメッセージを控えめに変更しました。

2.002 (2021 年 10 月 11 日)

- [新機能] フィボナッチ・リトレースメントに表示したマイナスのレベル線の説明をフィボナッチ・エクステンションとして表示できる設定を追加しました。
- [仕様変更] フィボナッチ・リトレースメントで 1.0 超のレベルのレベル線の始点をフィボナッチ・リトレースメントの始点にクリップするように変更しました。

2.003 (2021 年 10 月 21 日)

- [新機能] 水平線の価格を決定するときに [Shift] キーを押していると、そのバーの高値、安値、始値、終値のうち最も近い価格に吸着するようにしました。
- [新機能] 「エリオット波動の番号」「山や谷につける番号」「連続線」について、[背景として表示] オプションの変更が一連の他の番号や線分にも反映されるようになりました。
- [不具合修正] 水平線をトレンド・ラインを使用して描く設定の場合、水平線の作成を途中でキャンセルすると、次の水平線の描画ができない不具合を修正しました。

2.004 (2021 年 11 月 2 日)

- [不具合修正] Windows 7, Windows 8, Windows 8.1 で RF1 v2.000 以降が動作しない不具合を修正しました。※公式のサポートは 2021 年 11 月 2 日現在 Windows 10 のみです。

2.005 (2021 年 11 月 19 日)

- [新機能] 定型色が、ショートカット・キー入力時に [Shift] を押している場合と押していない場合で個別に設定可能になりました。これにより定型色は 10 色まで設定できるようになりました。
- [新機能] チャート・キャプチャーでキャプチャー結果をクリップボードに出力する場合、出力完了後にダイアログ・ボックスで作業完了をお知らせします。このダイアログ・ボックスを表示しない設定ができるようになりました。
- [仕様変更] フィボナッチ・リトレースメントとフィボナッチ・エクスパンションのレベル線に水平線を引く際の修飾キーを、[Ctrl] + [Shift] から [Shift] 単独に変更しました。
- [不具合修正] 複数行テキストに定型色を適用してもすぐに反映されない不具合を修正しました。
- [不具合修正] 複数行テキストの編集モードを終了したあと、MetaTrader のウィンドウが非選択状態になる不具合を修正しました。

2.006 (2022 年 1 月 30 日)

- [新機能] チャート・キャプチャーでは、チャート画像のキャプチャーに加えて、視界に入っているテキスト、複数行テキスト、トレード（RF1 の取引マーク機能で描画したもの）、マウスカーソル位置の情報もキャプチャーするようにしました。これらの情報はチャート画像と同じフォルダにテキスト・ファイルとして出力されます（※クリップボードに出力する場合は画像とテキストの両方がクリップボードに設定されます）。
- [新機能] チャート・キャプチャーで使用する日付などの書式を選択可能としました。
- [新機能] 取引マークの利益表示の文字色と背景色を選択可能としました。
- [新機能] ポータブル・インストールされた MetaTrader 4 へのインストールをサポートしました。
- [仕様変更] フィボナッチ・エクスパンションの吸着位置計算方法を変更し、小さなフィボナッチ・エクスパンションが描きやすくなりました。
- [仕様変更] チャートのウィンドウの表示サイズやチャートの位置（時間軸）がチャート・キャプチャーの前後で移動してしまうケースがありましたが、キャプチャー完了後に、キャプチャー前の状態を復元するようにしました。
- [仕様変更] 垂直線の詳細をクリップボードにコピーする操作は、垂直線をクリックすると同時に [Shift] キーも押していただくように変更しました。
- [不具合修正] 通貨ペアによっては取引マークの利益表示の pips 表示に余計な 0 がつく不具合を修正しました。
- [不具合修正] トレンド・ライン、連続線を作成中にチャートの表示時間足を変更すると、プレビューの線が表示されたままになる不具合を修正しました。
- [不具合修正] 価格変動が激しい位置にフィボナッチ・エクスパンションを作成すると、第 2 点の座標が意図しない位置に設定される不具合を修正しました。
- [不具合修正] 「チャートを設定に従ってキャプチャー」のショートカット・キーを押し続けていると RF1 が強制終了する場合がある不具合を修正しました。

2.007 (2022 年 2 月 1 日)

- [新機能] 「取引マークの表示／非表示」機能にショートカット・キーを割り当てられるようになりました。
- [新機能] 取引マークのエントリーと決済を示す矢印、★、×の大きさを設定で変更できるようになりました。
- [不具合修正] チャートによってはキャプチャーが失敗する場合がある不具合を修正しました。
- [不具合修正] マウス・カーソルがチャート上にない状態でチャートをキャプチャーすると、キャプチャーに失敗する不具合を修正しました。
- [不具合修正] 「チャートの配置」を「すべてのチャートを左上から並べる」に設定し、かつキャプチャー結果をファイルに保存する場合、テキストファイルが出力されない不具合を修正しました。
- [不具合修正] チャート・キャプチャー時にフィボナッチ・リトレースメントやフィボナッチ・エクспанションのレベル線の説明の表示位置がずれた状態でキャプチャーされる頻度を大幅に低減しました。

2.009 (2022 年 2 月 6 日)

- [新機能] チャート・キャプチャーでテキストやトレードをキャプチャーしない設定が可能になりました。

2.010 (2022 年 2 月 27 日)

- [新機能] 取引マークを他の時間足と共有する設定が可能になりました。
- [新機能] エリオット波動の番号と山や谷につける番号は、設定により 9 番まで使用可能になりました。
- [新機能] 定型テキストが、ショートカット・キー入力時に [Shift] を押している場合と押していない場合で個別に設定可能になりました。これにより定型テキストは 10 とおりまで設定できるようになりました。

2.011 (2022 年 3 月 20 日)

- [新機能] 設定により、フィボナッチ・リトレースメント、フィボナッチ・エクспанションのレベル線を前面に表示することもできるようにしました。
- [新機能] 「他の時間足の取引マークを表示／非表示する」ショートカット・キーが設定可能になりました。
- [仕様変更] 他の時間足で取引マークが作成された場合、共有先の時間足のチャートにおいて取引マークが非表示状態であれば、その取引マークは共有先では非表示状態となるように変更しました。
- [仕様変更] 取引マークを非表示にした場合、チャートをいったん閉じて開き直したときに非表示の状態が維持されるようになりました。
- [不具合修正] 取引マークのエントリー・ポイントと決済ポイントを結ぶ線を非表示の設定にしても、取引マークをいったん非表示にしたあと表示に戻すと線が表示されてしまう不具合を修正しました。
- [不具合修正] 取引マークの損益表示が若干読みづらい不具合を修正しました。（取引マークをいったん非表示にしたあと表示に戻すと読みやすくなります。）
- [不具合修正] 取引マークの決済ポイントを [TAB] キーを押しながらクリックしても取引マークを削除できない場合がある不具合を修正しました。
- [不具合修正] 「エリオット波動の番号」と「山や谷につける番号」で標準よりも大きい番号を使用している場合、フォントや色の変更が一部の番号に正しく反映されない不具合を修正しました。

2.012 (2022 年 6 月 9 日)

- [機能改善] チャートを移動したり、チャートのサイズを変更した場合の再描画が素早くなりました。
- [機能改善] CR1 で未来のチャートを隠している場合、RF1 で作成するオブジェクトは隠れているローソクには吸着しないようになりました。
- [不具合修正] 取引マークを他の時間足からコピーする設定で取引マークを一時的に非表示にしている場合でも、取引マークのエントリー・ポイントと決済ポイントを結ぶ点線だけが表示される場合がある不具合を修正しました。

2.013 (2022 年 6 月 10 日)

- [不具合修正] 水平線のラベルの水平位置が、水平線を共有するチャート間で同期してしまう不具合を修正しました。（この不具合は 2.012 でのみ発生します）

2.014 (2022 年 6 月 25 日)

- [新機能] フィボナッチ・リトレースメントとフィボナッチ・エクスパンションを 2 クリックで作成するモードを追加しました。
- [機能改善] フィボナッチ・リトレースメントとフィボナッチ・エクスパンションのレベル線に水平線を作成する際、MetaTrader 4 の設定によってはレベル線が選択状態になる場合がありますが、これを解消しました。

2.015 (2022 年 7 月 3 日)

- [不具合修正] 複数行テキストが視界内に存在するチャートで「チャートを設定に従ってキャプチャー」機能を動作させると、RF1 が強制終了し、当該チャートが操作不能になる不具合を修正しました。

2.016 (2022 年 7 月 24 日)

- [機能改善] 取引マーク描画機能において、あらかじめ設定された分のスプレッド（固定値）を考慮するように変更しました。
- [機能改善] CR1 のトレーニング・モード中に取引マークを描画する場合、CR1 の時刻よりマウスカーソルが右側にある場合は、RF1 の設定に関係なく CR1 の最新価格に吸着するように変更しました。

2.017 (2022 年 11 月 16 日)

- [機能改善] CR1 v2.000 以降のトレードパネル（擬似取引）機能で取引した履歴を RF1 の取引マークとして描画する機能に対応しました。
- [機能改善] 複数行テキストの背景色をチャートの背景色と同じにした場合に、複数行テキストの背景色を透過させる設定を追加し、標準で有効の設定としました。
- [機能改善] ライセンス・キーを専用ツールで設定するように変更しました。
- [不具合修正] 複数行テキストの編集を繰り返しているとメモリ消費量が増えていく不具合を修正しました。
- [不具合修正] GOLD などの一部銘柄や通貨ペアにおいて、取引マーク描画機能で表示される pips 数が本来の 10 倍になっている不具合を修正しました。なお、今回の修正は 1 pip = 10 points であるブローカーを前提にしています。1 pip = 1 point であるブローカーの場合は、「価格と pips の変換比率」の設定を「自動判定」**以外**に明示的に設定してください。
- [その他] [ライセンス・キーの適正な利用を促進するための機能](#)を追加しました。

2.018 (2022 年 11 月 26 日)

- [不具合修正] 複数行テキストの背景色をチャートの背景色がともに黒の場合に、複数行テキストの背景色が透過しない不具合を修正しました。

2.019 (2023 年 1 月 4 日)

- [新機能] [Alt]キーを押しながら水平線をクリックすると、水平線がローソクと初めて衝突する位置まで自動的に延長する機能を追加しました。このとき、該当する時刻に垂直線を引いてそこまでチャートを移動させることもできます。
- [機能改善] チャート・キャプチャー機能の画像に描き込む日付を選択する画面において、CR1 for MT4 と併用していてトレーニング・モード中の場合は、CR1 の時刻以降は選択肢に表示されないようにしました。
- [機能改善] チャート・キャプチャー機能の画像に描き込む日付を選択する画面において、[ESC]キーを押すことによりキャプチャーをキャンセルできるようになりました。

2.020 (2023 年 2 月 23 日)

- [不具合修正] 一部の環境で、複数行テキスト作成ボタンと、複数行テキスト編集画面のゴミ箱ボタンが化ける不具合を修正しました。

2.021 (2023 年 12 月 24 日)

- [機能改善] 垂直線と水平線において、線のスタイルが設定可能になりました。
- [機能改善] 取引マークの損益表示が移動できるようになりました。
- [機能改善] 連続線を描画中、[Ctrl]キーを押しながら確定した部分は前面表示となるように変更しました。
- [不具合修正] フィボナッチ・リトレースメントとフィボナッチ・エクспанションのレベル線の説明がチャート右端に表示されている場合において、ローソクの確定でチャートがスクロールした場合に右端からずれた位置に表示される不具合を修正しました。
- [仕様変更] 「フィボナッチの設定 / 共通設定」→「レベル線を背景として表示する」の標準の設定を false に変更しました。

2.022 (2024 年 4 月 2 日)

- [不具合修正] エリオット波動の番号、山や谷につける番号を、最終足より右側に書き込もうとすると、最終足の時刻の位置に書き込まれる不具合を修正しました。

2.023 (2024 年 7 月 3 日)

- [機能改善] 長方形の描画中に [Shift] キーを押すと、始値、高値、安値、終値のうち最も近い点に吸着するようになりました。
- [機能改善] 長方形の 2 つめの頂点をクリックで決定するときに [Shift] キーを押すと、価格座標をロックして終点の時刻座標だけを次のクリックで決定できるようになりました。
- [機能改善] 長方形の座標をドラッグで変更する際、ドラッグを終了するときに [Shift] キーを押していると、価格座標が維持されるようになりました。2 つめの頂点をクリックで決定するときに [Shift] キーを押すと、価格をロックして終点の時刻だけを次のクリックで決定できるようになりました。
- [機能改善] 長方形の編集後に、自動的に選択を解除する設定を追加しました。
- [機能改善] [Alt] キーを併用することで、第 2 の太さで水平線を描けるようにしました。
- [不具合修正] フィボナッチ・リトレースメントやフィボナッチ・エクспанションのレベル線に引いた水平線は価格が固定される仕様ですが、チャートのリロード後は固定が解除されてしまう不具合を修正しました。

2.024 (2024 年 9 月 14 日)

- [機能改善] チャート・キャプチャー機能のファイル保存先フォルダ、およびファイル名に一部変数を使用できるようにしました。

2.025 (2024 年 12 月 22 日)

- [その他] 試用版の最終試用期限を更新しました。

2.026 (2025 年 11 月 8 日)

- [その他] 試用版の最終試用期限を更新しました。